

第五十九回帝國議會
衆議院

蠶絲業組合法案外一件委員會會議錄(速)第二回

付託議案

蠶絲業組合法案(政府提出)
蠶絲業法中改正法律案(政府提出)

會 議

昭和六年三月十四日(土曜日)午後一時
四十九分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事 下元鹿之助君

理事 高橋 欽哉君

理事 高橋 守平君

理事 青木 精一君

理事 橫川 重次君

理事 生方 大吉君

村上 國吉君

菅村 太事君

木村 清治君

林 七六君

同月十三日委員鑄木忠正君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高橋守平君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十三日理事鑄木忠正君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十四日高橋守平君理事ニ當選セリ

同月十四日委員山柊儀重君理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ高橋欽哉君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ
農林大臣 町田 忠治君
出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省蠶絲局長 小平 權一君

農林書記官 田淵 敬治君

農林書記官 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
蠶絲業組合法案(政府提出)

蠶絲業法中改正法律案(政府提出)

○小山委員長 ソレデハ是ヨリ蠶絲業組合法案、蠶絲業法中改正法律案ノ委員會ヲ開會致シマス、御諮リ致シマス

ガ、理事鑄木忠正君ガ委員ヲ辭任致シマシタ、又山柊儀重君ハ理事ヲ辭任致サレマシタ、理事ノ補闕選舉ヲ行ハナケレバナリマセヌガ、先例ニ依リマシテ委員長ヨリ御指名致シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○小山委員長 御異議ガアリマセヌカラ、高橋守平君、高橋欽哉君ノ兩君ニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、是ヨリ會議ヲ開キマスガ、御異議ガナケレバ蠶絲業組合法並ニ蠶絲業法改正法律案ノ二案ヲ一括シテ議題ニ致シタイト思ヒマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○小山委員長 ソレデハ此二案ニ對シテ農林大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒ

マス

○町田國務大臣 此二案ニ付キマシテハ、大要本會議ニ提出致シマシタ時ニ說明申上ゲテ置キマシタガ、此委員會ニ於キマシテ御審議下サルニ付キマシテ、更ニモウ少シ詳細ニ互ツテ、一應説明申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス

申スマデモナク、本邦重要産業タル蠶絲業ニ從事スル當業者ノ系統團體トシテハ、現在養蠶者ノ團體、及重要物産同業組合、蠶絲業同業組合中央會等ガアリマスガ、之ニ關シマスル法制全カラザルガ爲ニ、其目的及組織ガ徹底ヲ缺キ、從ツテ其團結力モ微弱デアリ、各業者間ノ規律アル行動モ期待シ難ク、斯業振興上遺憾ナ點ガ尠クナイノデアリマス、然ルニ斯業ノ現狀及前途ヲ觀マスルノニ、蠶絲各業ハ常ニ各其利害ニ基キ、協同團結ノ力ニ依ツテ改善ヲ要スルモノガアリマスルト共ニ、必要アル時ニハ蠶絲業全般ノ利益ヲ保持スル爲、相互ニ其ノ利害上ノ小異ヲ捨テテ、大局ノ上ヨリ局面ヲ打開スル、所謂當業者ノ自治的統制ノ組織ヲ備フル團體制度ノ樹立ヲ急務トスルノデアリマシテ、當業者ニ於テモ數年來之ヲ要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

ノ通りデアリマス、蠶絲業組合法案ハ右ノ趣旨ニ依リ、又當業者一致ノ要望ニ基ク諸點ヲ十分ニ斟酌シテ、立案シタモノデアリマシテ、其法制ノ骨子ヲ申上グレバ

一、蠶絲業組合ハ(一)養蠶業組合、(二)蠶種製造業組合、(三)産業組合製絲組合、(四)製絲業組合、(五)生絲問屋業組合、(六)生絲輸出業組合ノ六種トシ、各業者別々ニ之ヲ組織スルモノトシ、養蠶業組合ハ、更ニ道府縣聯合會及全國聯合會ヲ組織シ、其他ノ蠶絲業組合ハ全國聯合會ヲ組織シ、是等ノ各業別ノ全國聯合會ヲ以テ日本中央蠶絲會ヲ組織シ、蠶絲業全般ノ統轄團體タラシメタルコト

二、養蠶者ノ蠶絲業組合タル養蠶業組合ハ、現在既ニ任意組合トシテ全國ニ普及セル養蠶組合ヲ、簡易ナル法人ト爲シ、之ヲ組織員トシ、個々ノ養蠶者ヲ組合員トスル不便ヲ避ケタルコト

三、蠶絲業組合ハ蠶絲業ノ改良發達ニ必要ナル事業ヲ行フト共ニ、行政官廳ノ特別ノ監督ノ下ニ、事業統制ヲ行ヒ得ルモノトシタルコト

四、蠶絲組合ハ之ヲ法人トシ、組合員

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

要望シツ、アルコトハ、諸君ノ御存ジ

タル資格ヲ有スル者ハ、加入ノ手續ヲ俟タズシテ當然之ヲ組合員トシ、又經費、過怠金ニ付テモ強制徴收ヲ爲シ得ルコト、シ、組合ノ維持存立ヲ確保セシムルコト、シタルコト

五、蠶絲業組合ノ地區ハ、養蠶業組合ニアリテハ、原則トシテ郡市區域トシ、其ノ道府縣聯合會ハ道府縣、全國聯合會ハ全國ヲ區域トシ、其他ノ蠶絲業組合ニアリテハ、原則トシテ府縣ノ區域ニ依リ、其各、全國聯合會ハ、全國ノ區域ニ依ルコトトシタルコト

ルニ至リマシタコトニ付テハ、相當ノ沿革、徑路ヲ辿ッテ政府案トシテ提出スルニ至ッタヤウニ仄聞致シテ居リマス、初メハ當期議會ニ民政黨ト、政友會ノ兩黨ノ成案トシテ、共同提案ノ途ヲ選バウト云フヤウナコトモ仄聞致シテ居ッタノデアリマスガ、突如トシテ政府案トシテ御提出ニ相成ッタニ付テハ、本案ノ提案マデニ至ル徑路、經緯ヲ農林大臣ノ立場ヨリシテ詳細ニ御説明ヲ此場合御願ヒ致シタイト思ヒマス

○町田國務大臣 青木委員ヨリ此二法案ヲ、會期半バヲ過ギタ後ニ、急イデ之ヲ政府提出ノ法律案トシテ出シマシタ經過ヲ御尋ニナリマシタ、御尋ノ中ニハ或ハ此重大ナル法案、又黨派ニ依ッテ政策ヲ異ニシテ居ル法案ニ非ズシテ、寧ロ蠶絲業全體ノ上カラ見マシテ、超黨派的トモ見ルベキ法案ト私共考ヘテ居リマスガ、之ヲ或ハ各派ガ協同シテ提出スルヤウナ模様ガアッタガ、之ヲ政府案トシテ提出シタ經過ヲ説明セヨト云フ御希望デアッタヤウニ解シマシタ、實際ハ左様デアリマス、御承知ノ通り蠶絲業ニ對シテハ、中央會ガ一面ニアリマス、此中央會ハ養蠶家、製絲家、蠶種製造業者、輸出業者等、各業體ノ利害ガ公平ニハ中央會ニ反映致シテ居リマセスコトハ、青木君ノ御承知ノ通りデアリマス、如何ニモ之ヲ遺憾ト致シテ居リマス、一方ニハ部落、若クハ町村ヲ單位ト致シマシタ二萬數千、或ハ二萬七千トモ稱ヘラレテ居リマス、斯ク多數ノ任意組合ヲ單位トシテ、ソレガ中央ニ於テ帝國養蠶組合ノ中央會ト云フベキモノガ現ハレテ居リマシテ、動モスレバ養蠶家ノ利害ト、製絲家ノ利害ガ一致セヌヤウナ爲ニ、全般ヲ通ジマシタ統制ガ、今日マデ遺憾ナガラ行ハレテ居ラヌ事實ハ、青木委員ノ御承知ノ通りデアリマス、故ニ農林省トシマシテハ、此際重要産業ノ統制ノ爲ニ、相當調ベモ致シ、相成ルベクハ此法案ヲ出來ルダケ早ク議會ニ提出シタイト思ッテ居リマシタガ、同時ニ之ヲ提出シテ貴衆兩院ヲ通過セシムルニハ、從來種々ナル行掛リニ依ッテ、意見ノ一致ヲ見出シテ居ラナカッタ所ノ、各團體ノ意見ヲ調和セシムル必要ヲ、其實行上感ジテ居ッタノデアリマス、幸ニ機運ガ熟シマシテ帝國養蠶組合ノ幹部ノ方々、中央會ノ幹部ノ方々、其他多少參加セラレタ者モアリマスガ、主トシテ二團體、大日本蠶絲會モ同様ノ考ヲ持チマシテ、屢、會合ヲシテ、意見ノ交換ヲセラレタ上ニ、稍、一致點ヲ見出シマシテ、之ニ農林省モ參加シテ意見ヲ交換シマシテ、先般加藤君ノ本會議ニ於テ質問セラレシ際ニ、私カラ御答ヘシタ通り、近ク政府案トシテ提案スルカ、或ハ衆議院ニ於ケル在朝在野ノ意見ガ一致シマシタ時ハ、便宜上兩黨ノ方々ノ共同シタル提案トシテ、或ハ議會ニ提出セシムルコトヲ希望スルコトモ、或ハアルダラウト云フ意味ヲ、私ハ本會議ガ加藤君ニ御答ヘシタト記憶致シテ居リマス、實ハ今年ノ政府提出案モ、相當多クアリマス、大小七八十ニ達シテ居ルト思ヒマス、故ニ實ハ內閣ニ於テハ、今後緊急已ム

六、日本中央蠶絲會ハ蠶絲業全般ニ互ル事項、殊ニ全國の事業統制及對外關係事項ヲ掌ルモノトシタルコト

七、本制度施行ニ伴ヒ、日本中央蠶絲會成立後ニ於テハ、現在ノ蠶絲業同業組合中央會ハ、一定ノ期間内ニ之ヲ解散セシムルコトトシタルコト

大體以上ノ諸點デアリマス、御審議ノ上速ニ可決セラレンコトヲ希望致シマス、之ニ伴ッテ蠶絲業法中改正法律案ハ申スマデモナク、前ノ法律ノ制定ノ結果トシテ現ハレタモノデアリマスガ故ニ、改メテ説明ヲ申上ゲルコトハ要ラヌト思ヒマスカラ略シマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○小山委員長 是ヨリ休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、此際青木君ノ發言ニ對スル政府當局ノ答辯ヲ求メ

午後三時十八分開議

午後二時一分休憩

○小山委員長 是ヨリ休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、此際青木君ノ發言ニ對スル政府當局ノ答辯ヲ求メ

午後三時十八分開議

午後二時一分休憩

○青木委員 議事ノ進行ニ付テ一言申上ゲマス、本案ガ政府案トシテ提案ス

○青木委員 議事ノ進行ニ付テ一言申上ゲマス、本案ガ政府案トシテ提案ス

○青木委員 議事ノ進行ニ付テ一言申上ゲマス、本案ガ政府案トシテ提案ス

ヲ得ザルモノ、外ハ此邊デ新ナル提案ヲ控ヘタイ、提出スルコトハ避ケヨウヂヤナイカト云フ申合ヲ致シテ置キマシタ關係上、此案ヲ提出致シマスニ付テハ或ハ司法省其他ノ省ニモ合議シナケレバナラヌ、何時デモ斯様ナ條項ノ多イモノヲ合議致シマス、事務的手續等モ相當ナカ、時間ガ掛リ、又法制局ニ參リマシテ、大キナ法案ニナルト一箇月モ審議サレル虞ガアリマス、併シ農林省トシテハ大體ニ意見ガ決マリ、民間各團體ノ意見ガ稍一致シテ、細カイ所ハ農林省ニ任カセルト云フ申合セモアッタト承知シテ居リマスカラ、斯ル内閣ノ申合セガアッタニ拘ラズ、此案ヲ特別ニ取扱ッテ、閣議ヲ經テ政府案トシテ出スコトガ出來タノデアリマス、併シ政府案トシテ之ヲ出スコトニ付キマシテノ私ノ意中ハ、主ナル各政黨ガ稍一致ヲ見ラレタモノト大體ニ於テ私ハ左様ニ考ヘテ居リマスガ故ニ、政府案トシテ提出致シマシタモノ、國家的見地カラ、各黨派協同シテ出サレタモノト同ジ心持デ、政府案トシテ提出シタノデアリマス

ガ本案ニハ其儘現ハレテ居ナイカノヤウニモ承ッテ居リマスガ、其點ハドウ云フ關係ニ相成ッテ居リマスガ、又僅カ會期十日シカ殘サナイ今日ニナッテ、斯ル重大法案ヲ政府ガ御提出ニナッテ、順調ニ本案ガ進ミマシタトシテ、貴衆兩院ヲ完全ニ通過シテ、本案ノ成立ヲ期シ得ル所ノ確信ガオアリニナルカドウカ、ソレヲ審議ニ入ルニ先立ッテ、承ッテ置キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 青木委員ノ只今ノ御尋ヲ、私ハ要領ヲ或ハ十分諒解ガ出來ヌノデアアルカモ知レマセヌガ、只今ノ御尋ヲ大體承ルト、農林省ガ從來指導監督シテ居リマシタ中央會ニ對シテ、指導監督ノコトヲヤッテ居ッタカ、何カ其邊ニ此度ノ案ニ對シテ、其從來ノ考ト少シ齟齬シタカノ如キ御尋ノヤウニ想像サレマシタガ、或ハ私ノ解釋ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ、法律上出來マシタ蠶絲業中央會ニ相當重キヲ置キマシテ、之ニ依ッテ蠶絲業ノ、出來ルナラバ指導獎勵ヲヤリタイト云フ考ヲ以テ、今日ニ及ンダノデアリマス、併シ御承知ノ通り中央會蠶絲會ニハ部ヲ分テ、其各部ガ集ッテ中央會ガ出來テ居リマスモノ、或ル縣ニ於キマシテハ、中央會ニ代表者ヲ出スベキ團體ノナイ縣モ相當アルト云フ按配ニ、全部各府縣カラ其利害ヲ代表スルモノガ、全部

所謂中央ニ反映シテ居ラヌノデアリマス、ソレニハ或ハ相當大キナ勢力ヲ持ッテ居リマス蠶絲組合、ソレガ中央ニ集ッテ帝國蠶絲組合ト相成リマシテ、帝國蠶絲組合中央會ト、動モスレバ利害ヲ異ニシ、蠶絲業ニ對スル意見ヲ異ニシテ、各、其立場ノ上カラ聲明サレ、其意見ノ一致ヲ見ナイコトガ多イノデアリマス、斯様ナコトデハ蠶絲業全體ノ統制ニ遺憾ナ點ガ多イ、中ニハ或ハ十人二十人ト云フ小サナ組合モアリマセウガ、兎モ角モ全國蠶絲業者二百數十萬ヲ大體網羅シテ居リマス此組合ノ中心ト、蠶絲業法ニ依ッテ出來テ居リマス中央會ノ最高機關ト、相容レヌヤウナ意見ガアルコトハ、甚ダ遺憾ト思ヒマス、故ニ兩方ニ對シテ農林省ノ意見モ屢申シ、幸ニ議ガ熟シテ蠶絲業ノ統制、將來日本ノ最大ノ産業タル蠶絲製絲業者ハ、内農村ノ爲、外國ニ對シテモ、一致團結スルノ必要ニ茲ニ迫マラレテ、議ガ熟シタ爲ニ、之ヲ總括シテ各、中央聯合會ガ、各業態ニ對シテ中央會ガ出來、聯合會ガ出來、其聯合會ガ合シテ、茲ニ最高機關タル中央會ガ出來マシテ、公平ニ各業態ノ利害ガ茲ニ現ハレマシテ、ソコデ代表者ガ互ニ審議致シマシテ、協調ノ末ニ一般ノ方針ヲ立テルト云フ、從來ノ統制機關ヨリモ、稍、積極的ニ進ンデ行ク意味ガ、

茲ニ初メテ現ハレテ來タノデアリマスカラ、此邊ヲ御諒解下サレバ、提案ノ趣意ガ御承知出來ルコト、思ヒマス

○青木委員 大體經過ヲ承リマシテ諒承致シマシタガ、初メ農林省ガ蠶絲業各團體ニ對シテ、特ニ中央會ニ對シテ指導シタル、團體統制ノ指導精神ト本案トハ、聊カ其要點ニ於テ、指導精神

御承知ノ通り中央會蠶絲會ニハ部ヲ分テ、其各部ガ集ッテ中央會ガ出來テ居リマスモノ、或ル縣ニ於キマシテハ、中央會ニ代表者ヲ出スベキ團體ノナイ縣モ相當アルト云フ按配ニ、全部各府縣カラ其利害ヲ代表スルモノガ、全部

所謂中央ニ反映シテ居ラヌノデアリマス、ソレニハ或ハ相當大キナ勢力ヲ持ッテ居リマス蠶絲組合、ソレガ中央ニ集ッテ帝國蠶絲組合ト相成リマシテ、帝國蠶絲組合中央會ト、動モスレバ利害ヲ異ニシ、蠶絲業ニ對スル意見ヲ異ニシテ、各、其立場ノ上カラ聲明サレ、其意見ノ一致ヲ見ナイコトガ多イノデアリマス、斯様ナコトデハ蠶絲業全體ノ統制ニ遺憾ナ點ガ多イ、中ニハ或ハ十人二十人ト云フ小サナ組合モアリマセウガ、兎モ角モ全國蠶絲業者二百數十萬ヲ大體網羅シテ居リマス此組合ノ中心ト、蠶絲業法ニ依ッテ出來テ居リマス中央會ノ最高機關ト、相容レヌヤウナ意見ガアルコトハ、甚ダ遺憾ト思ヒマス、故ニ兩方ニ對シテ農林省ノ意見モ屢申シ、幸ニ議ガ熟シテ蠶絲業ノ統制、將來日本ノ最大ノ産業タル蠶絲製絲業者ハ、内農村ノ爲、外國ニ對シテモ、一致團結スルノ必要ニ茲ニ迫マラレテ、議ガ熟シタ爲ニ、之ヲ總括シテ各、中央聯合會ガ、各業態ニ對シテ中央會ガ出來、聯合會ガ出來、其聯合會ガ合シテ、茲ニ最高機關タル中央會ガ出來マシテ、公平ニ各業態ノ利害ガ茲ニ現ハレマシテ、ソコデ代表者ガ互ニ審議致シマシテ、協調ノ末ニ一般ノ方針ヲ立テルト云フ、從來ノ統制機關ヨリモ、稍、積極的ニ進ンデ行ク意味ガ、

○町田國務大臣 要望ハ勿論、此案ヲ

要望ハ勿論、此案ヲ

提出スル一ツノ動機ト申セバ宜イカ、一ツノ力トナツタコトハ勿論デアリマス、併シ只今青木君ガ御話ノ通り、前内閣ニ於カセラレテモ、ヤハリ調査ノ上斯様ナ案ヲ提出サレル御意向ガアツタト云フコトヲ承ツタガ、定メシ左様デアラウト思ヒマス、現内閣モ其意思ヲ以テ常ニ調査致シテ居リマシタ、而シテ各團體ノ一致シタル要望ト申シテモ宜シイガ、各團體ガ一致スルコトニ致ス順序ニ於テハ、其道程ニ於テハ、農林省モ屢々各團體ノ主ナル方ト御會ヒシテ農林省ノ意見モ屢々申述ベテ、大體ニ於テ農林省ノ意見ト、各團體ノ意見ト、一致シタノデアリマス、併シ是ハ單リ民政黨ノ力デ出来タモノトハ思ヒマセヌ、前内閣ニ於テ田中内閣モ左様ナル考ガアツタガ、議熟シテ偶々我が内閣ニ於テ提案スルト云フコトニナツタ譯デアリマス、眞ニ私共ハ此案ヲ以テ、某政黨ノ力ダトカ、某政黨ノ是ハ綱領デアラント云フ考ハ、眼中一切サウ云フ考ガナイコトヲ、明ニ致シテ置キマス

○加藤委員 只今ノ問題ニ關聯シテ一寸一言副ヘテ置キタイト考ヘマス、大體ニ於テハ今青木君ノ質問ニ對シ、農林大臣ガ御答ニナリマシタ通りデアリマスガ、併シ此場合ニ於テ一言私ノ立場カラ補足致シテ置クコトガ、將來ノ

爲ニ宜カラウト考ヘマスカラ、申上ゲタイト思フノデアリマス、如何ニモ今農林大臣ノ仰シヤル通り、是マデ我が蠶絲業界ニハ團體系統ガ色々ニ分レテ居タノデアリマス、其結果ト致シマシテ、帝國養蠶組合ハ昨年ノ一月十七日ニ養蠶組合法ト云フモノヲ立案シテ、之ガ實現ヲ政府當局ニ要望致シマスルト同時ニ、一方ニ於テハ廣ク之ヲ世ニ公開致シテ、其批判ヲ求メテ居タノデアリマス、然ル處蠶絲業同業組合中央會ニ於テモ、昨年ノ九月二十三日ニ同會ノ委員會ニ於テ、蠶絲業組合法要綱ナルモノヲ決定致シ、昨年十月二十七日ニ農林省ヘ建議致シタノデアリマス、而シテ帝國養蠶組合ノ要望致シテ居ル單行養蠶組合法ト、中央會ノ建議致シタ蠶絲業組合法要綱ト云フモノハ、大體ニ於テ其筋ガ違ッテ居リマス、詳シイコトハ時間ヲ要シマスルカラ申上ゲマセヌガ、其結果ト致シマシテ、當局ニ於テハ其取扱ニ困ラレタ結果ガ、此兩團體ノ交渉ト相成リ、雙方ノ委員ガ何回トナク交渉ヲ致シマシタ結果、茲ニ初メテ意見ノ一致ヲ見タノデアリマス、農林大臣ノ言葉尻ヲ答メル譯デアリマセヌガ、大臣ハ稍々一致ト云フコトヲ言ハレタケレドモ、稍々一致デハナ

場カラ補足致シテ置クコトガ、將來ノ

ッテ現ハレ、其仲裁案ガ更ニ蠶絲業ニ關スル組合要綱トナツテ、去二月十六日ニ農林當局ニ申請シ、之ニ依ッテ蠶絲業組合法ヲ制定セラレンコトヲ各團體ノ關係者ガ相携ヘテ、要求シタノデアリマス、ソコデ當局ニ於テ此牧野大日本蠶絲會頭ノ仲裁案ニ基テ、立案セラレタノガ、即チ只今御提案ニナリマシタ此蠶絲業組合法案デアアルノデアリマス、故ニ此蠶絲業組合法案ハ、政府ノ提案デアルガ、其實當業者ノ案デアリ、蠶絲業者ノ案デアッテ、政府ノ案即チ蠶絲業者ノ案ト云フ洵ニ何トモ言フニ言ハレナイ、渾然融和ノ結果現ハレタ法律案デアアルノデアリマス、斯ノ如キ法律案ハ、未ダ曾テ見ザル所デアラウト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ次第デアリマシテ、農林大臣ガ是ハ一黨一派ノ案デハナイ、我が民政黨ノ案デモナケレバ、又政友會ノ案デモナイト言ハレタコトデ、我が蠶絲業ノ現狀ガ此場合ニ於テ斯ノ如キ法案ノ提出ヲ見ルニ至リタルコトニ於テ、私ハ實ニ言フニ言ハレナイ感ニ打タル、ノデアリマス、是ニ於テ私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、今回此政黨政派ヲ超越致シテ、眞ニ蠶絲業ノ爲ニ斯ノ如キ案ガ生レタト云フコトハ、マダ我が蠶絲業ト云フモノガ、決シテ悲觀スベキモノデナイ、將來尙ホ大ニ有望デアルト云フ

果ガ牧野大日本蠶絲會頭ノ仲裁案トナ

コトノ憑證デハアルマイカト、私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、サレバ我が蠶絲業ノ爲ニモ國家ノ爲ニモ、本案ノ提出ハ慶ブベキコトデアリマスカラ、此一言ヲ此場合ニ副ヘテ置キタイト考ヘ申上ゲル次第デアリマス

○町田國務大臣 只今加藤サンガ、私ガ述べマシタコトノ足ラヌ所ヲ補足シテ下サイマシテ、私モ有難ク存ジマス、加藤君ノ御話ノ通りデアリマス、只青木君ニ向ッテ、一言御答致スコトヲ取落シテ居リマシタガ、貴衆兩院ヲ通過スル見込ガアツテ出シタカト云フ御念ノ入ツタ御尋デアリマシタガ、只今ノ光景ヲ見マスト、此委員會ハ十分御審議ノ上ニ於テ、此超黨派の大問題ヲ御協賛下サルコト、私ハ希望シ、且ツ信ジテ居ルノデアリマス、貴族院ニ於キマスル情勢ヲ簡單ニ申シマスト、マダ政府デ貴族院ノ眞相ヲ揣摩臆測シテ御返事ヲ致スコトハ、貴族院ニ對シテ相濟ミマセヌカラ、私ハ茲ニ差控ヘマス、併シ帝國養蠶組合ノ會長タル藤村男爵、又大日本蠶絲會ノ會頭タル牧野子爵、又蠶絲業同業組合中央會ノ有力ナル幹部トシテ、貴族院ニ席ヲ有シテ居ル今井吾介君、此三君ガ屢々會合セラレテ、幸ニ衆議院ガ通過シテ貴族院ニ回ハサレタ以上ハ、十分ナル努力ヲ拂ッテ、貴族院各派ノ諒解ヲ得ルコトニ努メラレ

院各派ノ諒解ヲ得ルコトニ努メラレ

答デ、既ニ今日モ豫備行爲トシテ、各派ニ向テ諒解ヲ求メツ、アル現狀ニ、貴族院ガアルト申ス外、貴族院ヲ通過スル確信ノコトハ私カラ申サヌ方ガ、貴族院ニ對シテ宜カラウト思ヒマスカラ、差控ヘマス

○小山委員長 是ヨリ質疑ニ入リマス、議事ノ進行上、蠶絲業組合法案ト蠶絲業法中改正法律案ヲ、一括議題トシテ其質疑ヲ進メタイト思ヒマス、質疑ニ入ルニ先チマシテ、一言御許シテ得テ申述ベサシテ戴キタイト思ヒマス

ガ、先程來委員各位ヨリ御話ガアリマシタ通り、本案ハ蠶絲業ノ上ニ極メテ重大ナル基礎的、根本的法律トモ云フベキモノデアラウト思ヒマス、併ナガラ其審議ニ用キベキ時日ハ、御話ノ通り殘ス所ガ僅ニ十日デアリマス、洵ニ短イノヲ遺憾ト致シマス、サレバト言ッテ質疑ヲ不十分ニ終ラセル譯ニハ參リマセヌ、希クハ御質問ハ議題ヲ中心トシテ、之ニ關聯シタル他ノ事柄ヲ全然御止メ申上ゲルノデアリマセヌケレドモ、出來ルダケ議題ヲ中心トシテ、成ベク簡約ニ御述ベテ願ヒタイト思ヒマス、又政府委員ノ方ニ對シマシテハ、此會ヲ組織シテ居リマスル委員諸君ハ、我國ノ蠶絲業ノ上ニ十分ノ理解ヲ持チ、十二分ノ抱負ヲ持ッテ居ラル、方デアリマス、隨テ其質問等ハ孰レモ意

義ノアルモノト考ヘルノデアリマスカラ極メテ懇切ニ丁寧ニ、サウシテ此蠶絲業ヲ中心トシテ、杞憂ヲ同ジクスルト云フ態度デ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ質疑ノ順序ハ通告順ニ依リマシテ、先ヅ横川重次君ノ發言ヲ求メマス

○横川委員 只今委員長ヨリノ注意モアリマシタコトデアリマス故ニ、極メテ簡單ニ質疑ヲ申上ゲタイト思ヒマス、併シナガラ事柄ハ二百萬養蠶家、製絲關係者ニモ關スルコトデゴザイマスルガ故ニ、先ヅ本案ノ基礎ヲ成シマスル蠶絲業ノ根本問題ニ付テ、御當局ノ御意見ヲ簡單ニ拜聽シタイト思フノデアリマス、私ノ質問申上ゲタイ範圍ハ、主トシテ養蠶實行組合及ビ蠶絲業組合ニ關スル方面デアリマス、又隨テ是ガ根本對策デアリマスル方面モ、主トシテ農業生産品トシテノ蠶ニ關スル政府ノ對策ニ付キマシテ、御意見ヲ承ル次第デゴザイマス、先ヅ第一ニ御伺ヒ致シタイノハ、農業生産物デアリマ

スル蠶ト云フモノガ、他ノ商品ニ比較シマシテ非常ニ割安デアリマスコトハ、政府モ夙ニ御認メノコト、存ジマ

スガ、尙ホ此繭價ノ不安定ト云フコトガ、農業經濟ニ及ボス影響ガ非常ニ重大デアルヤウニ思フノデアリマス、繭價ノ安定ニ關シマスル政府ノ御所見

ヲ、先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○町田國務大臣 御尋ノ繭價ノ安定ニ對スル根本意見ト云フ重要ニシテ且ツ廣汎ニ互ツタ御尋ト思ヒマスガ、私ノ御答ハ御尋ノ趣意ト合致スルカ否ヤ、頗ル懸念デアリマスガ、御尋ノ趣意ヲ忖度シテ、此處デ御答致シマスルト、御話ノ如ク農產物トシテ米穀ニ次グ大量生産ノ農產物デアリマシテ、殊ニ申スマデモナク貿易上カラ見マスルト、米

以上ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル問題デアリマス、而シテ二百萬ノ養蠶家ガ、或ハ專業モアリマセウガ、主トシテ副業トシテ、米穀生産以外ニ、繭ノ生産ニ依ッテ今日ノ農村ヲ維持シテ居ル實狀ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲル必要モナイト思ヒマス、ソコデ世上ニハ、屢、繭ノ國營、或ハ繭ノ公定價格維持ト云フヤウナコトニ對スル意見モ現ハレ

マシテ、相當之ニ付テハ考慮致シテ居リマス、併シ現内閣ト致シマシテハ、差當リ繭ノ國營ト云フコトノ實行ニ付キマシテハ確信ガアリマセヌ、又繭ノ公定價格ヲ定メルト云フコトニ付キマシテモ、相當研究ヲ致シマシタガ、マダ確信ト責任ヲ以テ、是ガ可ナリト明ニ御答スルマデニ調査ガ進ンデ居リマセヌ、併シ申スマデモナク、從來或ハ製絲家ノ爲ニ養蠶家ノ利益ガ犧牲トナ

ッテ居ルト云フ場合ノ屢、アルコトハ私

モ認メテ居リマス、故ニ今後竝ニ今日行ヒマスル繭價ノ安定ノ施設ト致シマシテハ、從來歷代内閣ガ執ッテ居ル乾繭裝置、竝ニ乾繭倉庫ノ設備ヲモット進メタイト思ヒマス、同時ニ繭ノ檢定所ヲ普及サセマシテ、此處デ公正ナル價格ヲ、養蠶家ノ利益ノ爲ニ維持スルコトノ策ヲ執リ、一面ニハ、或ハ桑園ノ改良——此度應急對策トシテ執リマシタ桑ノ改植ノ爲ニ三千萬圓ヲ投ジマスルコトモ、ヤハリ將來桑ノ質ヲ良クシ

桑ノ價ヲ安クシ、從ッテ他ノ優良品種ノ普及ト共ニ、出來ルダケ繭ノ生産費ヲ安クスルト同時ニ、其價格ヲ安定シテ、副業ノ意味ニ於ケル二百萬養蠶家ノ利益ヲ、出來ルダケ増進シテ行キタイト云フ大體ノ立テ方デアリマシテ、此法案ガ貴衆兩院ヲ通過シテ、實行致シマスルコトニ相成リマスレバ、從來屢、非難ヲ受ケマシタ、製絲家ノ爲ニ養蠶家ノ利益ガ犧牲ニナッテ居ルト云フヤウナコトハ、農林省モ指導監督ノ立場ニ於テ、中央會ヲ常ニ監督シテ、左様ナ從來ノ如キ弊害ノ斷ジテ無イヤウニ努力シテ參ルコトノ外ニ、繭價ノ根本策トシテ、世ノ中ノ一部ニ唱ヘラレテアル、國營若クハ繭ノ公定價格ヲ維持スルト云フコトニ對シテハ、マダ之ヲ可ナリトシテ、此席デ言明スルマデニ參ッテ居ラズ、先ヅ以テ前申シマシタ

第五類第三十三號 蠶絲業組合法案(政府提出)外一件委員會會議錄 第二回 昭和六年三月十四日

施設ニ依ッテ、養蠶家ノ利益ヲ擁護スル
立場ニアルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒ
タイ

○横川委員 農林大臣ノ懇切ナル御説
明ニ依リマシテ、稍、其御意見ノ在ル所
ヲ髣髴セシメルコトガ出来タノデアリ
マスガ、唯ソレヲ要約シテ、然ルカ否
カ、一言反問ヲ御許シ願ヒタイと思ヒ
マス、サウ致シマス、大體從來マデ
御執リ来リニナリマシタ種々ナル政
策、主トシテ乾繭利用組合等ノ全國的
普及ヲ一層増進スルコトニ依ッテ、繭價
ノ安定ヲ御圖リニナルト云フコトデア
リマシテ、主トシテ養蠶家ノ自治的ノ
經營ニ俟ッテ、是ガ安定ヲ圖リマシテ、
絲價補償ト同様ナ意味ノ、繭價ノ補償
乃至ハ生産者ニ對スル保險ノ制度デア
ルトカ云フヤウナ意味ノ御施設ニ付キ
マシテハ、目下御考ニナッテ居ルノデ
アリマセウカ、其點ヲ御説明ヲ願ヒマ
ス

○町田國務大臣 生絲ノ融資補償法ノ
ヤウナ建前ヲ以テ、繭價ヲ補償スルト
云フヤウナ意味ノ意見モアリマシタ、
相當考慮シテ見マシタガ、農林省ノ研
究ニ依リマス、繭價補償ノコトハ、
實行スルニ甚ダ困難ヲ感ジテ居リマシ
テ、近ク現内閣デ繭價補償ノ法律ヲ提
出スルト云フ考ヲ確定スルマデニマダ
進ンデ居リマセヌ、唯私ノ申上ゲヤウ

ガ足ラナカタナラバ、横川君ノ御話ノ
通り、出来ルナラバ、養蠶家ノ自治、
養蠶家ノ責任ニ依ッテ、繭價ヲ安定サセ
テ行キタイト云フ意味デ進ミツ、アリ
マス、同時ニソレニ最モ必要ナルモノ
ハ、ヤハリ繭ニ對スル金融ノ途デアリ
マシテ、近ク農産物ニ對シテ低利資
金其他ニ依ル金融ヲ得サセルコトニ付
キマシテハ、議會終了後取急イデ大藏
當局ト相談シテ、農村金融、農村負債
ノ整理ノコトニ對シテハ大イニ努力シ
テ、何等カノ成案ヲ得ルコトニ努メル
爲ニ協議ヲ致シテ居リマス、今現ニア
リマス信用組合ヲ中心トシタ農村金融
機關ハ、力モアリマセヌシ、又負債モ
澤山アリマスノデ、此整理ノ歩ヲ進メ
ルト同時ニ、繭ヲ一時ニ賣出シテ、繭
價ヲ暴落セシメルコトヲ防グ施設ハ、
自治的ニ政府ガ金融等ニ於テ援助スル
コトデ相當出来ルト云フ概念ノ下ニ調
査ヲ進メテ居ル積リデアリマス

○横川委員 根本ノ問題ニ付テハ、略
諒解致シマシタ、而モ尙ホ質問ヲ超越
致シマシタ意味合ノ農村金融ニ關スル
政府ノ御方針ヲ御聽キ致スコトガ出来
マシタコトハ、質問者ト致シマシテ非
常ニ欣快ト致ス所デゴザイマス、御説
明中ニ、現在マデノ繭價ノ不安定ニ關
シマシテ、製絲家ト養蠶家ノ利害ノ相
一致セザルコト、乃至ハ其取引ノ方法

ニ付キマシテ、缺陷ノアルト云フコト
ヲ御話ガアッタノデアリマスガ、之ヲ更
ニ具體的ナ意味合デ御説明ガ願ヘマス
レバ、大變結構デアルト思ヒマス

○町田國務大臣 御満足ヲ得ルヤウナ
御答ハ如何カト思ヒマスガ、例ヘバ其
一ツノ方法トシテハ、私共ハ相成ルベ
クハ、養蠶家ト製絲家ノ利害ヲ、出来
ルダケ一致セシムル施設トシテ、組合
製絲ヲ、主義トシテ出来ルダケ獎勵促
進シタイ理想ヲ持ッテ居リマス、即チ申
マデモナク組合製絲ハ、養蠶家、製絲家
ノ合シタル一團體トシテ、雙方ノ利害
ガ同一ノ組合ノ上ニ落チテ来ルノデア
リマス、唯私ハ餘リ經驗モアリマセヌ
ガ、二三主ナル地方ヲ廻ッテ組合製絲
ノ成績モ見マシタ、相當ノ美シイ精神
ノ下ニ組合製絲ガ出来テ居リマスガ、
一ツノ懸念トシテ、私トシテハマダ十
分ナ解決ガ出来ヌノハ、今後此改正案
ガ出来マシテ、統制ガ出来マス、將
來製絲家ノ經營ニ於ケル小規模ノ、或
ハ五十釜トカ七十釜トカ云フ、全國三
千ノ製絲家ガアリマス、群立シテ居ル
此製絲業者モ相當ナ程度ニ之ヲ淘汰改
善シテ行クコトガ、製絲ノ生産費ヲ減
ズル上ニ於テモ、或ハ能率ヲ進メマス
上ニ於テモ必要ト考ヘテ居リマス、同
時ニ一ツノ疑問ハ、組合製絲ハ果シテ
他ノ營業製絲ノ如キ、大キナ組織ニハ

參ラヌト思ヒマス、大キナ組織ニ參ラ
ヌ爲ニ、玆ニ工業經營トシテ、營業製
絲ノ大規模ノモノニ比較シマシテ、生
産費ガ多ク掛カリハセヌカト云フヤウ
ナ懸念ガアリマス、何等カノ方法デ此
懸念ガ取レマシテ、營業製絲ト對抗シ
得ラレル經營法ヲ研究スルト同時ニ、
理想トシテハ出来得ベクンバ、組合製
絲ニ促進致スコトガ、製絲家ト養蠶家
ノ利害ヲ早く一致調和セシムルコト
ニ、最モ宜シキ方法ノ一ツト私ハ確信
シテ居ルノデアリマス

○横川委員 只今ハ將來ノ御理想ヲ伺
ッタノデアリマスガ、其過渡的ノ時代ニ
アリマス現在ノ農村ニ於キマシテ、政
府ガ繭價安定ノ立場ト致シマシテ、取
引上ノ缺陷ニ付キマシテハ、何等御話
ガナカタヤウニ存ジマスガ、現下ノ情
勢ニ應ズベキ適當ナル御考ガ御有リナ
ラバ、之ニ關シテ具體的ノ御説明ヲ御
願ヒシタイと思ヒマス

○小平政府委員 私カラ御答致シマ
ス、此法案ガ通過後、繭價ノ安定ニ對
シテドウ云フ作用ヲ爲スカ、又ドウ云
フ方針デ進ムカト云フヤウナ御尋デア
ルヤウニ伺ヒマシタガ、此法案通過後
ニ於キマシテハ、養蠶家ハ詰リ實行組
合トシテ郡ノ養蠶業組合ヲ組織スルコ
トニナリマス、ソレカラソレガ縣聯合
會ヲ作り、全國聯合會ヲ作ルコトニナ

他ノ營業製絲ノ如キ、大キナ組織ニハ

リマス、一面ニ於テハ製絲家ノ方ニ於
テモ、ヤハリ縣全體ノ組合ガ出來、更
ニ進ンデ全國ノ聯合會ガ出來マス、ソ
レガ中央ニ行キマシテ、日本中央蠶絲
會ガ出來ルコトニナリマスガ、是ハ從
來ノ同業組合トハ違ヒマシテ、色々統
制ノ事業ヲ認メテ居リマス結果、繭
價ノ問題ニ付キマシテモ、今マデヨリ
モ非常ニ合理的ニ統制ガ行ハレルモノ
ト思ッテ居リマス、又實際サウ云フ統制
事業ヲ行ハセル積リデアリマス、隨テ
繭ノ取引ニ對シマシテモ、上級ノ最高
機關ノ蠶絲會デ、合理的取引ノ方法ヲ
決定シマシテ、ソレニ各所屬ノ組合ヲ

依ラシムルト云フ方法ニ依リマシテ
モ、相當今マデヨリハ合理的ニ繭取引
ガ行ハレルデハナカラウカ、斯ウ考ヘ
テ居リマス、又各府縣ノ繭取引ニ於キ
マシテモ、此統制團體ニ依リマシテ、
繭取引ヲ相當合理化スルコトガ出來ル
ト思フノデアリマス、尙ホ從來色々缺
陷ガアル、ドウ云フ缺陷カト云フ御質
問ノヤウデゴザイマシタガ、是ハ既ニ
皆様モ十分御存ジノコト、思ヒマス
ガ、是ハ色々缺陷ガアリマス、勿論
是ハ繭ノミナラズ、總テノ取引ニ付テ
理想的ノ取引ト云フモノハナイ譯デア
リマス、殊ニ繭ニ於キマシテハ、或ハ
繭ノ賣買ニ付キマシテモ、好イ加減ノ
價格ヲ定メラレル、或ハ繭ヲ賣タケレ

ドモ、代金ガ取レナイトカ、或ハ代金
ノ回收ニ付テ色々爭ガ起キマス、トカ、
又個々ノ農家ト製絲業者トノ取引ニ於
キマシテモ、統制ノナ見地ニ立ッテ、ソ
レヲ監視スル團體ガ茲ニ生レテ居リマ
ス結果、色々取運ビ、數量、價格
ノ決定、或ハ絲價ト繭價トノ合理的ニ
釣合ッテ居ラナイ點トカ、缺陷ヲ舉ゲレ
バ色々アリマス、勿論中ニハ製絲業者
ニ依テハ、合理的ノ取引ヲシテ居ルモ
モアルノデアリマスガ、サウ云フ色
色ノ缺陷ヲ、此統制團體ニ依テ十分統
制シ、合理化シテ行キタイト云フ考デ
アリマス

○横川委員 此問題ニ關シマシテハ、
特ニ私ハ局長カラ御話ヲ伺ヒタイト思
ヒマス、只今ノ御説明ハ、大體缺陷ノ
アリマス程度ヤ、缺陷問題ノ御説明ガ
多イヤウデゴザイマシテ、如何ナル原
因ニ依ッテ製絲家ト養蠶家トノ利害ガ
一致シテ居ルガ、如何ナル缺陷ガ取引
ノ上ニアルガ故ニ現在ノヤウナ狀態ニ
ナッタノカ、サウ云フ意味合ノ原因ヲ具
體的ニ御説明願ヒタイト思ヒマスガ、
如何デゴザイマセウカ

統制的ニ郡ニ纏マッテハ居リマスガ、極
ク「ルーズ」ナ團體デアリマシテ、法
制ニ依ッテ郡全體ニ固ク結付イテ居ラ
ナイト云フ點モアリマス、其他製絲業
者ト養蠶業者トノ間ノ繭價ノ協定ト云
フコトモ、今マデハ法制上行ヒ得ルヤ
ウナ機關ガナカッタ等色々原因ハアリ
マス、又間接ニハ金融ノ事モ相當影響
シテ居ルカト思ヒマス

○横川委員 政府ハ大正十四年デアリ
マシタカ、共同繭倉庫及ビ乾繭利用販
賣組合ニ對スル助成規則ヲ發布セラレ
マシテ、繭ヲ商品トシテ取引ガ出來マ
スルヤウナ意味ノ根本的ノ改善ヲ致サ
レマシテ、ソレ以來國策トシテ是ガ支
辨ヲ年々豫算ニ依ッテヤッテ參リマシ
タコトハ、大臣ノ御説明ノ通りデアリ
マスガ、自分等ノ考ニ依リマス、繭
ガ商品トシテノ條件ヲ具備スルコトガ
甚ダ薄弱デアリマシテ、御承知ノ如ク
生物デアリマス故ニ、殊ニ春蠶等ニ於
テハ一週間モシマッテ置キマス、直グ
ニ發蛾シタリシテ、商品トシテノ價值
ガ全然ナクナルノデアリマス、斯様ナ
意味合ニ於キマシテ、乾繭ノ取引ト云
フコトガ繭ヲ商品化スル意味カラ言ヒ
マシテモ、乃至金融上製絲家ノ負擔ヲ
輕カラシムル上カラ言ヒマシテモ、非
常ニ重要ナ問題デアルト思フノデアリ
マスガ、將來ニ於キマシテ、全國ノ生

○小平政府委員 繭取引ノ缺陷ニ付
テ、其原因ヲ是レ々々ト舉ゲルコトハ困
難デアリマスガ、農家ノ自覺ノナイ點モ
非常ニアルト思ヒマス、又一面ニ於テ
ハ今マデノ實行組合ト云フノガヤハリ

○町田國務大臣 御尤モナ御尋ト思ヒ
マス、先刻私ノ申シマシタ繭ニ對シテ、
養蠶家ノ手ヲ離レヌ中ニ低利資金其他
ノ金融機關ニ依ッテ、養蠶家ノ利益ヲ擁
護シタイト云フ意味モ、結局ノ所ハ乾
繭裝置ノ獎勵等ニ依ッテ、乾繭取引ヲ促
進スルコトガ最モ必要ト思ヒマス、隨
ヒマシテ只今御話シマシタ圖表ノヤウ
ナモノニ現ハレテ居リマスモノニ依ッ
テ見テモ、從來アリマス乾繭組合ハ郡
ノ養蠶業組合ト云フ中ニ加入シテ行ク
コトノ途ハ開イテアリマスガ故ニ、恐
ラクハ左様ナ方法ニ依ッテ今後乾繭ノ
設備ガ次第ニ完備スルト同時ニ、今後
ノ取引ハ理想トシテハ乾繭取引ヲ主ナ
ルモノト致シ、農林省トシテモ其施設
ヲ促進スルコトニ努力スルコトハ申上
ゲルマデモアリマセヌ、私共ハ必ズ乾
繭裝置ノ促進ト共ニ、繭ノ價格ヲ安定
サセテ、營業製絲家ニ依ッテ、從來養蠶
家ノ利益ガ幾分犠牲トナッテ居ッタヤウ
ナコトヲバ防グ爲ニハ、乾繭取引ノ促
進ヲ最モ有效ナルモノト確信シテ居リ
マス

第五類第三十三號 蠶絲業組合法案(政府提出)外一件委員會議錄 第二回

昭和六年三月十四日

七

テ居リマス乾繭設備ノ關係ト、今回提

案ニナリマシタ養蠶業組合トノ調和ノ問題デアリマスガ、此點ハ局長稍、具體的ニ、如何ニ此問題ヲ調和シテ行クカト云フコトニ付テノ御説明ヲ希ヒタイト思ヒマス

○小平政府委員

御答シマスガ、乾繭

結合ハ今皆様ニ圖表デ御覽ニ入レマシタ一番右ノ側ノ筋ヲ引イタ産業組合ガ、即チ乾繭組合ニ該當スルノデアリマス、併シ養蠶實行組合ニ於キマシテモ繭ノ共同販賣ハソレト、皆ヤッテ居ルノデアリマス、隨テ繭ノ共同販賣ト云フ點ニ於キマシテハ、乾繭組合モ同じ仕事ヲヤッテ居ル譯デアリマシテ、同じク農家ノ組織シテ居ル團體デアリマスカラ、其關係デ養蠶業者ノ利益ヲ十分擁護スル目的ヲ以テソレヲ統制スル意味ニ於テ、郡市ノ養蠶業組合ニ加入シテ戴クコトガ、一番養蠶業者ノ利益ヲ十分擁護スル目的ヲ達シ得ヨウト思フノデアリマシテ、其趣旨ニ於キマシテ郡市ノ養蠶業組合ハ養蠶實行組合トシテ組織スルノデアリマスケレドモ、乾繭組合モソレニハイッテ戴イテ、郡市養蠶業組合ノ繭ノ取引ノ合理化ヲ圖ッテ行キタイト思ヒマス、斯ウ云フ考デ養蠶業者ガ組織シテ居ル乾繭組合モ、郡市ノ養蠶業組合ニ這入ルノガ一番適當デアルト考ヘタノデアリマス、勿論ハ現在ノ乾繭組合ノ數ハ、産業組合

ニ付キマシテハ五十二アルノデアリマシテ、其數モ亦少イノデアリマス、隨テ或ハ産業組合ノ中デモ政府ノ助成ニ依ラズ、産業組合デ繭ノ共同販賣ヲシテ居リマスモノガアリマス關係上、産業組合ノ繭ノ販賣ヲスル方ニ付キマシテハ、其組合ガ郡市ノ養蠶業組合ニ加入スルコトヲ希望スル場合ニ於テハ、之ニ、加入シテ戴ク、勿論統制カラ申シマスレバ加入シテ戴クコトガ當然デアリマスガ、ソレハ色々ノ關係ガアリ

マスカラ郡市養蠶業組合ニ加入シテ統制ヲシタイト云フ希望ノ組合ニ這入ッテ戴ク、這入ッタ以上ハ行政廳ノ認可ヲ經ナケレバ、郡市ノ養蠶業組合カラ出ルコトガ出來ナイト云フコトニシマシテ、養蠶實行組合ノ繭ノ取引、共同販賣取引、乾繭組合ノ共同販賣ノ取引ト同ジヤウニ統制シテ行キタイ、同ジヤウニ、這入ッテ來テソコデ調和ヲ取ッテ行キタイト考ヘテ、斯ウ云フ組織ヲ認メタ次第デアリマス、養蠶業者ノ生産シタ繭ノ共同販賣ヲスルコト云フ點カラ申シマスレバ、養蠶實行組合モ乾繭組合モ何等ソコニ對立關係ハナイノデアリマシテ、共同シテ行ク程力ガ強クナル譯デアリマスカラ、郡市養蠶業組合ニ這入ルノガ最も適當デアアル、斯ウ考ヘタ譯デアリマス、隨テ郡市養蠶業組合ニ這入リマスレバ、道府縣、全國養

蠶業組合聯合會ノ系統ニ這入ルコトガ適當デアルト考ヘマシテ斯ウ云フ案ヲ立テタ譯デアリマス

○横川委員

御説明ガ能ク吞込メナカ

ッタノデアリマスガ、端的ニ申上ゲマスルト、埼玉縣下ノ乾繭組合設備等ヲ例ニ引キマシテ、申上ゲマスレバ、殆ド郡下ノ養蠶家ハ乾繭組合員ニナッテ居リマシテ、若シ乾繭組合ニ於キマシテ是ガ乾燥販賣事業ヲ行フモノト致シマスレバ、同様ニ設立サレマシテ、同様ノ目的ヲ持ッテ居リマスル今度ノ組合ト云フモノハ、乾燥スベキ繭モナシ、又販賣スベキ繭モナイト云フコトニ相成ルノデアリマスルガ、乾繭組合ガ今度ノ養蠶業組合ニ加入シテ、共ニ俱ニト云フ風ナ御話ガアリマシタガ、其間尙ホ不明ナ點ガアリマスルノデ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ御話中ニ合理化云々ト云フ言葉ガ非常ニ再出テ參リマスルガ、此合理化ト云フコトガドウ云フ意味合ヲ爲シテ居リマスカ、其點モ具體的ニ御説明ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○小平政府委員

御答致シマスガ、最

初ノ御質問ハ乾繭組合ニ這入ッタ養蠶業者ガ共同販賣ヲスレバ養蠶實行組合ヲ作ル必要ハナイト云フヤウナ御質問ノヤウニ伺ッテ居リマス、サウ云フ場合ニナリマスレバ乾繭組合トシテ郡市養

蠶業組合ニ這入ッテ戴ケバソレデ十分目的ハ達セラレルト思フノデアリマス、併シ養蠶實行組合ハ繭ノ共同販賣以外ニ色々ノ仕事ガアリマスカラシテ繭ノ共同販賣以外ニ雅蠶共同飼育等色々ナ事業ヲ致ス必要ガゴザイマスレバ、法人タル養蠶實行組合ヲ御作リニナルコトモ想像出來ルカト思フノデアリマス、是ハ實際産業組合ニ這入ッテモ宜イシ、養蠶業組合ノ系統ニハイリマス、産業組合デ十分ナ場合ニハ或ハ養蠶實行組合ヲ御作リニナラナイ場合モアルカト思ヒマス、ソコハ實際其地其地ニ於テ協調ガ出來ルコト、思フノデアリマス、養蠶實行組合ヲ別ニ設立ヲ強制シテ居ル譯デアリマセヌデ、必要ニ應ジテ設立シテ戴クコトニナルノデアリマスルカラ、其間調和ヲ缺クヤウナコトハナイヤウニ考ヘテ居リマス、又行政廳ハ指導獎勵スル上ニ於キマシテモ、調和ヲ缺クコトヲナカラシメタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ合理化ノ問題ガ出マシタガ、私ノ言葉ガ餘リ抽象的ナ言葉デアッタカモ知レマセヌガ、之ヲ平易ニ申上ゲマスレバ、取引ナラ取引ノ改善、弊害ヲナクシテ改善スル、斯ウナル譯デゴザイマス

○横川委員 私ハ缺陷ノアルト云フ御話ニ付キマシテ具體的ノ質問ヲ致シマ

シタ際ニ合理化スルノダト云フコトデアリマシタカラ、所謂合理化ノ意味ハ何デアルカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、易シク御説明ヲ下サイマシテモ同ジク諒解ニ苦シム次第デアリマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、サウ致シマスルト只今ノ御答辯ハ、乾繭組合ハ乾繭組合トシテ從來ノ如ク仕事ヲヤッテ行ッテ宜シイト云フ意味デアリマスルカ、ソレトモ乾繭組合ハ別箇ノ組織ニナッテ實行組合ノ聯合デアリ意味ニ於キマシテ、ソレノ仕事ノ代行デモスルヤウナコトニ相成ルノデアリマセウカ、其邊ヲ具體的ニ御答ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 御答致シマスガ、乾繭組合トシテ繭ノ共同販賣ノ目的ガ十分達セラレルコトニナリマスルナラバ、強ヒテ繭ノ共同販賣ダケニ付テ實行組合ヲ御作リニナル必要ガナイカトモ想像セラレマスガ、併シ現在實際ニ於キマシテハ乾繭組合ノ出荷ヲ滑カニスル爲ニ出荷團體ト云フモノガ出來テ居ル乾繭組合モゴザイマス、ソレカラ實行組合ニナリマスレバ郡市ノ養蠶業組合ニ加入スルコトニナリマスノデスガ、併シサウナリマシテモ乾繭組合ハ乾繭組合トシテノ立場ニ於テ、郡市ノ養蠶業組合ニ加入シマシテ産業組合トシテノ乾繭組合ガヤハリ郡市ノ養蠶業

組合デ色々利益ノ主張モ出來ルカト思フノデアリマス、是ハ實際其地其地ニ依ッテ十分協調ヲ保ツヤウニシテ戴クコトニ考ヘルヨリ外、仕方ガナイト思ヒマス、實際ハ指導ニ依リマシテ十分兩者ノ協調ヲ缺クヤウナコトハ致サセヌ積リデアリマス

○横川委員 私ハ協調ヲ缺クト云フ意味デ御尋シテ居ルノデハアリマセヌガ、サウ致シマスルト實行組合ニ依ッテ組織サレル蠶絲業組合ト云フモノニ乾繭組合ガ這入ルト云フコトニナリマス、實行組合ハ市町村ヲ單位トスルモノデアリ、乾繭組合ハ縣ヲ單位トシ乃至ハ郡ヲ單位トスルモノガ多イノデアリマセウガ、斯ウ云フモノト同格ノ意味デ這入ルコトニナルノデアリマセウカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、同格ト云フ言葉ガハッキリ致シマセヌノデスガ、詰リ斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、例ヘバ郡市養蠶業組合ハ原則トシテ區域ハ郡市デアリマスガ、其ハ例外トシテ或ハ縣全體デ養蠶業組合ガ出來ルコトガアリマス、假ニ極端ナ場合ヲ考ヘマシテ、養蠶業組合ハ郡市區域デ、乾繭組合ガ縣區域デアルト云フ場合ヲ想像致シマス、或ハ區域ノ大キナ團體ガ、區域ノ小サナ團體ニ這入ルコトハ不自然ノヤウニモ御考ヘニナルカト思ヒマスガ、是ハ若シ縣區域ノ乾繭組合ガアルトスレバ、多クノ場合ニ於テハ各郡或ハ村位デ實際ノ事務ヲ扱フ支所ノヤウナモノガアルト想像出來ルノデアリマス、サウ致シマシテ縣區域ノ産業組合カラ乾繭組合ガ各郡ノ養蠶業組合ニソレノ共同販賣ノ協定ニ付テ這入ッテ戴クコトニナルト思フノデアリマス、是ハ製絲ノ方モ同様デゴザイマシテ、日本全國ヲ區域トスル營業製絲ノ株式會社ガゴザイマスレバ、ソレハ各府縣ノ製絲業組合ニソレゾレ這入ッテ戴イテ、製絲業ノ改良發達ヲ圖ルト云フコトニ考ヘテ居リマシテ、同様ニソレノ養蠶業組合ニ關係シテ其郡限りノ若シ協定スル事業ガアレバ、郡限りノ事業ニ參加シテヤッテ貰フト云フコトニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○横川委員 甚ダ不明ニ致シマシテ自分ニハマダ能ク分ラナイノデアリマスガ、ソレハ暫ク保留致シマシテ關聯スル問題ニ付キマシテ農林大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ致シマス、此郡單位ノ養蠶業組合ト云フモノハ現在繭取引ニ於キマシテ最モ缺陷トシ——農林大臣ノ將來ノ御理想ヨリ申シマシテモ、乾繭取引ト云フコトガ眼目デアルト云フ風ナ御答ガアッタノデアリマスガ、郡單位ノ養蠶業組合ニ於テ同様ニ乾繭設備ヲ致シマシテ、乾繭取引ヲセシメルト云フ御方針デアリマス、ドウカ其點ヲ御伺ヒ致シマス

○町田國務大臣 郡單位ノ養蠶組合ノ事ニ付テノ御話デ、ソレト乾繭組合ノ關係ガ先刻來質問應答ノ中心トナッテ居リマシテ、私モ素人デアリマシテ或ハ實狀ニ疎イノカモ知レマセヌガ、御質問ノ御趣意ト私共ノ考ヘテ居ル所ト稍一致シヤセヌカト思ヒマスノハ、ドウシテモ將來ハ生繭ノ取引ハ漸次之ヲ縮メマシテ乾繭取引ニ致シテ行クコトハ、繭價ノ安定、金融等ニ依ッテ養蠶家ノ利益ヲ擁護スル上カラ必要ナコトハ先刻申シタ通りデアリマス、只今ハ産業組合系ニ依ッテ乾繭組合ガ出來テ居ル等デアリマス、ソレガ認可加入ヲ致シテ郡市養蠶組合ニ入ルコトニナリマスガ、將來是非トモ乾繭ガ繭ノ公正ナル取引ヲ致シマスニ必要ナル點カラ見マス、乾繭組合ノ發達ヲ圖ルコトハ最モ必要デアリマス、乾繭組合ガ普及致シマス、將來ハ郡市養蠶業組合ト云フモノ、中ノ勢力ハヤハリ乾繭組合ガ郡市ノ養蠶業組合ノ中心ト相成ル時代ヲ吾々ハ理想ト考ヘテ居リマス、故ニソレニ依ッテ吾々ノ考ヘテ居ルコトガ御了解出來ルト思ヒマス、是ハ眞ニ私ハ乾繭裝置其他ノ方法ニ依ッテ進メラレテ居リマス、隨テ乾繭組合ガ産業

組合系ニ依ッテ出來テ居ルノヲ、是モ出
來ルダケ獎勵シテ行クコトガ結局繭價
ノ安定ヲ圖ルコトニ對スル最モ有效ナ
ル方法施設ト考ヘマス、其趣意ニ依ッテ
自然ト當局者ノ意向ヲ御了解下サルコ
トデアリマイカト、斯様ニ考ヘルノデ
アリマス

○横川委員 ドウモ能ク分ラナイノデ
アリマスガ、第二節ノ養蠶業組合ノ中
ニ「繭ノ取引方法ノ改善ニ關スル施設」
ト云フヤウナコトモアリマスシ、「繭ノ
検査ニ關スル施設」ト云フヤウナコト
モアルノデアリマスガ、是ハ主トシテ

養蠶實行組合自體ガ町村單位デヤッテ
行クト云フコトニ付テハ恐ラクハ其實
現ガ餘程困難デアルト思ヒマスシ、又
其能率ニ於テモ舉ラナイコト、思ヒマ
スガ、サウシマス、ドウシテモ郡單
位ノ養蠶業組合ニ依ッテ是ガ實現ヲ圖
ラナケレバナラヌノデアリマスガ、サ
ウ云フ意味カラ申シマスナラバ將來ノ
理想ヲ此中ニ入レテ考ヘマスナラバ當
然蠶絲業組合ナルモノハ乾繭設備ヲ致
シマシテ乾繭取引ヲヤル、又ソレニ依
ル所ノ團體取引ヲヤッテ行クト云フコ
トハ理想デナケレバナラヌト思フノデ
アリマスガ左様ニ考ヘテ宜ウゴザイマ
スカ、ドウカ

○小平政府委員 私カラ今ノ御質問ニ
御答致シマスガ、蠶絲業組合法ノ全體

ノ立方ガ、蠶絲業組合ト云フモノハ、
經濟行為ハ全クヤラナイ建前ニナッテ
居リマス、所謂公法人ニナッテ居リマシ
テ、産業組合ガヤルヤウナ仕事ハヤラ
セナイデ、産業組合デヤルヤウナ仕事
ヲ、統制スルト云フ言葉ヲ使ヘバ分ラ
ナイト思ヒマスガ、其ヤル仕事ヲ統制

シテ行ク、例ヘバ養蠶實行組合デ繭ノ
共同販賣ヲスレバ、其繭ノ共同販賣ヲ
此郡デハ斯ウ云フ方法ニ依ッテヤルベ
シト云フヤウナ、統制ト云フ言葉ヲ使
ヘバ非常ニ便宜デアリマスガ、サウ云
フコトヲ統制スルコトヲ、主トシテ公

法人タル郡ノ組合デヤラセルト云フ方
針デ、此組合法ガ出テ居ルノデアリマ
ス、隨テ産業組合デ乾繭組合ヲ作リマ
シテ、サウシテ或ハ郡ニ産業組合ノ聯
合會ヲ作ッテ乾繭事業ヤル場合モア
リマス、或ル縣デ乾繭組合聯合會ヲ作
ル場合モアリマスガ、是ハ産業組合系
統デ行クノデアリマシテ、其産業組合
系統デ行フ事業ヲ此方ノ公法人タル統
括力ヲ有ッテ居ル團體デ統制シテ行ク、
曲ツタモノヲ眞直ニシテ行クト云フ、サ
ウ云フ軌道ニ外レルモノヲ外レナイヤ
ウニシテ行クト云フノガ、此蠶絲業組
合ノ全體ノ建前デアリマシテ、經濟行
爲ヤル乾繭事業ニナルト商法上ノ所
謂商行爲ガ出來ナケレバナラヌカラ、
産

ソレハ商行爲ガ出來ル團體トシテ、産

業組合トシテ發達シタ、其産業組合ニ
軌道ニ外レタ仕事ヲサセナイヤウニ、
貫通スルト云フ意味ガ今度出來タ蠶絲
業組合デアリマスカラ、其點ヲ明瞭ニ
區別シテ法律ヲ規定シテアリマスカラ
御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○横川委員 繭取引ノ缺陷ヲ除去スル
意味ニ於テハ乾繭取引ト云フコトガ理
想デアルト云フコトハ、國務大臣ノ御
話ノ通りデアリマスガ、サウシマス
養蠶實行組合ハ如何ニシテ此國策ニ副
フコトガ出來ルノデアリマスガ、其點
ヲ御話願ヒマス

○小平政府委員 御答致シマス、繭ノ
販賣ノ御話ダト思ヒマスガ、養蠶實行
組合ガ繭ノ共同販賣ヲスルト云フ、サ
ウ云フ行為ヲ此系統ノ組合ニ依ッテ整
理改善シテ行クト云フコトニ依ッテ、繭
取引ノ改善ノ目的ニ副フヤウニシタイ
ト云フノデアリマス、隨テ繭ノ共同販
賣ト云フコトニナリマスレバ、ドウシ
テモ乾繭ニ依ラナケレバナラヌ、養蠶
業者ハ乾繭組合ヲ作ッテ産業組合等ガ
實際ニ取引ヲシ、ソレヲ誤リナキヤウ
ニ、進ンデハ府縣、進ンデハ全國のニ一
致シテヤラセル、サウ云フ指導獎勵統
制ト云フ方面ヲ此組合ニ於テ掌ル、實
際ノ取引行為ハ或ハ實行組合ナリ或ハ
實行組合ノ産業組合ヲ作ッテ——乾繭
組合ヲ組織シテソレデ取引スルト云フ

組合ヲ組織シテソレデ取引スルト云フ

コトニ依ッテ、兩方ノ經濟行為ヲ行フ方
面ト、主トシテ矯正シテ行ク方面ト二
ツノ方面ノ系統ガ兩立シテ、初メテ十
分繭取引ノ改善ノ目的ガ達セラレルヤ
ウニ考ヘテ居ルノデアリマス、賣買ノ
對手方自身ガ統制的ノ方面ニ立入ルヨ
リ、別ノ第三者タル關係ガ、賣買ノ兩
當事者ノ對立スル弊害ヲ矯メテ行クト
云フコトガ目的ヲ達スル上ニ於テ最モ
適當デハナカラウカ、斯ウ考ヘタノデ
アリマス

○横川委員 サウシマス、産業組合ニ
依ル組合ト云フモノガ「レール」ヲ外
レルモノデアアルガ故ニ、是ノ「レール」
ヲ外レナイヤウニ監督シ、小言ヲ言フ
ノガ此組合デアルト云フ結論ノヤウニ
思ヒマスルガ、必ズシモ産業組合ニ則ッ
テ居リマスル團體ト云フモノガ「レール」
ヲ外レルモノデアルト云フコトハ

ナイト思ヒマス、是ハ恐ラク御考ヘ違
ヒデハナカラウカト思フノデアリマス
ガ、ソレハ別ト致シマシテ此養蠶業組
合ト云フモノト乾繭組合ト云フモノト
ハ、是ハ別箇ニ考ヘテ然ルベキモノデ
アリマスカドウカ、其方ガ只今ノ御説
明ニ依リマス、産業組合ニ依ル「レール」
ヲ外レルガ如キ組合ハ同様ニ考
ヘベキモノデハナイ、ト云フヤウナ御
話ガアッタイヤウニ解シタノデゴザイマ
スカ、ドウデゴザイマセウカ

スカ、ドウデゴザイマセウカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、産

業組合ガ必ズ「レール」ヲ外レルト云

フコトニ御解釋ニナツテハ、或ハ私ノ言

葉ガ足りナカッタと思フデアリマス

ガ、個々ノ産業組合トシテハ完全ニヤ

リマシテモ、全體ノ販賣カラ見マ

スレバ、或ル場合ニ於テハ、全國ノ

共同販賣事業ガ一致シテ同ジ歩調ニ

進マナケレバナラヌ場合ガアルと思フ

ノデアリマス、或ハ或ル府縣ニ於テ、

一ツノ縣全體トシテハ一致シテ賣ル時

期ヲキメルトカ或ハ販賣市場ニ持ッテ行

クト云フヤウナ有様デアリマスカラ、

個々ノ産業組合トシテハ完全ニヤッテ

居リマシテモ、縣全體ガ一致シテ歩調

ヲ取ラナイ場合ニハ販賣ノ安定ニナラ

ナイ場合ガアリマス、サウ云フ場合ニ

統制的ニ、經濟的方面ト別ニ考ヘタノ

デアリマス

ソレカラモウ一ツノ御質問ハドウ云

フ御質問デアリマシタカ

○小山委員長 養蠶組合ト乾繭組合ト

ハ別箇ニ仕事ガ出來ルカ、一緒ニナル

カ……

○小平政府委員 養蠶組合ノ繭ノ取扱

モ乾繭組合ノ繭ノ取扱モ、同ジク養蠶

業者ノ生産シタ繭ヲ共同シテ賣ルト云

フコトハ同ジデアリマスカラ、ソレハ

寧ロ同ジニ考ヘテ、同ジ郡市ノ養蠶業

組合ニ這入ルト云フノガ最モ適當デア

ルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○横川委員 統制ト云フコトニ付キマ

シテハ私ハ少シモ異存ガナイデアリ

マス、唯此案ノ意味ヲ十分ニ捕捉スル

コトガ出來マセヌノデ、諄ク御質問申

上ゲル譯デアリマスガ、サウシマスル

ト經濟行爲ヲ爲シ得ナイモノカ郡單位

ノ養蠶業組合デアル、郡單位ノ養蠶業

組合ハ經濟行爲ヲ爲シ得ナイ、カルガ

故ニ若シ茲ニ養蠶實行組合ガ更ニ結合

シテ乾繭ノ設備ヲ爲シ、乾繭ノ上カラ

ノ乾繭取引ヲヤルト云フコトノ意向ガ

アルナラバ、別箇ニ乾繭設備ヲ設ケテ、

乾繭裝置ヲ——今ノ乾繭組合ト云フモ

ノヲ構成シテ、其實行ニ移ラナケレバ

ナラヌト云フコトニ相成ルノデアリマ

セウカ

○小平政府委員 左様デアリマス

○横川委員 若シサウデアルト致シマ

シタナラバ、國策デアリ、ヤガチ最モ近

キ將來ニ於テ繭價安定ヲ期スル上カラ

言ヒマシテモ、乾繭設備ノ普及ト云フ

コトヲ御言明ニナツテ居リ、又理想トシ

テ居ラレマスル立場ヨリ考ヘマシテ、

既ニ其大多數ノ府縣ニ於テ實現ヲ見テ

居リマスル系統的ナル團體、而モ養蠶

業者ノ發展ニ付キマシテ最モ新シイ理想

ヲ立ッテ居リマスル此團體ト云フモノ

ヲ、此蠶絲業法案ノ中ニ加ヘテ、何等カ

ノ意味デ獨立ノ存在トシテ加ヘテ御考

ヘニナラナカッタト云フコトハ國策ニ

背馳スルモノデハナイカと思フデア

リマスガ、如何デアリマスカ

○町田國務大臣 只今ノ御質問ハ私ノ

先刻申上ゲタコト、主トシテ其意味

カラノ御尋デアリマスガ、重ネテ申シ

マス、將來乾繭設備ヲ普及サセ、乾繭

取引デ參ルニハ養蠶家ノ利益ヲ擁護ス

ル上ニ於テハ乾繭取引ガ最モ良イ、又

金融關係カラ申シテモ、乾繭設備ヲ普

及セシメルコトガ必要ト思ヒマス、併

シ現在ニ於キマシテハ、申スマデモナ

ク、經濟施設トシテ産業組合系ニ是ガ

屬シテ居ルノデアリマス、而シテ認可

加入ト此度ノ規則ニナツテ居リマスレ

バ、將來養蠶家ガ乾繭裝置ノ普及ニ依

リマシテ乾繭組合ガ全國ニ普及致シマ

シタ節ニハ、一面ハ是ハ産業組合ノ經

濟施設トシテ、産業組合系ニ屬スルコ

トガ勿論ト同時ニ、統制ノ上カラ見マ

スト、場合ニ依レバ其時勢ニ應ジテ相

當ナ修正ヲ加ヘル時期ガアルモ知レマ

セヌ、併シ今日ハマダ其處マデ達シテ

居ラヌヤウニ考ヘマシタ爲ニ、之ヲ認

可加入ニ止メテ居ッタ次第デアリマス、

將來或ハソナ時代ノアルコトヲ私共

ハ寧ロ希望シタイ方デアリマス

○横川委員 只今ノ農林大臣ノ御話

ハ、以前ニ述ベラレマシタ農林大臣ノ

繭取引ノ理想ト云フモノガ、極メテ怪

シキ將來ヲ持ツカノ如キ多少自家撞著

的ノ御話デアッタヤウニ思フデアリ

マスルガ、是ハ別ト致シマシテ、只今乾

繭組合ガ此蠶絲業組合法案ノ中ノ獨立

ノ立場ヲ得ナカッタ理由ト致シマシテ、

ソレガ産業組合ニ屬スルガ故ニ、其系

統ニ屬スルガ故ニト云フ御話ガアッタノ

デアリマスガ、サウ致シマスレバ、組合

製絲ハ同ジク産業組合ニ屬スル系統デ

アルヤウニ思フノデアリマスルガ、單

リ組合製絲ニ於テ之ヲ許シマシテ、國

策デアリマスル乾繭裝置及ビ最モ將來

ニ其實現ヲ必要ト致シマスル乾繭組合

ト云フモノヲ此案カラ除却シタト云フ

コトハ、何等カ御異存ノアルコト、想

像セザルヲ得ナイノデアリマスルガ、

御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 私ノ此案ヲ提出致シ

マス理由ハ率直ニ申シマス、何等乾

繭組合ヲ疎シタト云フヤウナ考ハ勿

論デアリマセヌ、此普及ノ點——同ジ乾

繭組合ノ普及ヲ希望シテ居リマス點カ

ラ、私ノ考ハ御承知デアリマスガ、唯組

合製絲ハ全國ニ互ッテ相當ナ基礎ノ上

ニ進ンデ居リマシテ、此取扱ニ對シテ

モ相當研究致シマシタガ、ヤハリ之ヲ

系統的團體——六團體ノ一トスルコト

ガ日本現在ノ事情ニ適合シテ居ルト考

ヘテ斯様ニ致シタノデアリマス、敢テ

乾繭組合ヲ疎シタ趣意デアリマセ

ス、又横川君ニ於テ自分ノ乾繭組合ヲ
斯様ニ取扱フタ方ガ宜イト云フ御意見
デモアリマスレバ、一應ソレヲ承ルコ
トガ寧ロ私共ノ希望デアリマス

○横川委員 只今私ガ御質問申上ゲタ
ノハ蠶業組合系統ニ關スルガ故ニト云
フ御言葉ガアリマシタガ故ニ、御伺ヒ
致シタノデアリマスガ、其點ハ如何デ
アリマスカ

○町田國務大臣 私ノ言ヒ方ガ足リナ
カッタカ知ラヌガ、大體乾繭組合ハ經濟
的施設トシテ産業組合系ニ屬シテ居ル
モノデアル、何カ局長ノ話デハ産業組
合ノ方ノ統制ガ出來ヌトカ云フヤウナ
意味デシタガ、恰モ産業組合ノ相互相
扶ケル精神ニ依ッテ出來テ居ルノデ、私
共ハ實ハ農村ヲ中心トシタル今後ノ經
濟施設ハ、出來ルダケ産業組合ヲ中心
トシテ參ルト云フ方針ノ下ニ、私ハ産
業組合ニ最モ重キヲ置イテ居リマス、
何カ局長ノ先刻ノ答辯ノ中ニ、産業組
合ヲ或ル意味ニ於テ輕ク見ラレルヤウ
ナ意味ノ答辯ガアリマシタ爲ニ、私ハ
寧ロ補足スル意味ニ於テ、乾繭組合ト
云フモノハ産業組合系ニ屬シテ居ルト
云フ意味ヲ申シタノデアッテ、唯一方ノ
經濟施設、此方ハ大體ニ於テ統制ヲス
ル、指導監督ヲ本トシタル施設デアリ
マスガ故ニ、自カラ産業組合系ニ屬ス
ル經濟施設ノ組合トハ違フト云フコト

ヲ申シタノデアリマシテ、其他何カ言
葉ノ使ヒ方ノ爲ニ御諒解ヲ得ナカッタ
カモ知レマセヌガ、私ノ申ス趣意ハソ
レニ留ッテ居リマス

○横川委員 産業組合製絲組合ハ、ヤ
ハリ産業組合ノ規則ニ則ッテ居ルト云
フコトノ意味カラ御質問シタノデアリ
マスガ、之ニ付キマシテハ御答ガナカ
ッタヤウデアリマス、私ガ何等カ御所存
ガアッテト云フ意味ハ、主トシテ養蠶家
關係ノ立場ヨリ申スノデアリマスガ、
此所ニ現レテ居リマス蠶絲業組合ハ六
種ニナッテ居リマシテ、其中製絲ニ關係
致シマス組合ハ二ツ、又生絲ニ關係致
シマス組合ガ二ツ、都合四ツニナッテ居
リマシテ、養蠶ニ關スル組合ト云フモ
ノハ一ツニ過ギナイノデアリマス、是
ガ若シ數ノ上デ何等カノ決議ヲシテ、
其決議ト云フモノガ全體ノ蠶絲業者ニ
及ボスモノデアルトスレバ、現在ノ議
會政治ニ現レテ居リマスルト同ジヤウ
ナ、或ル意味デノ專制的ナ決議ナリ結
果ナリガ起リハシナイカト云フ點ヲ危
惧スルノデアリマスガ、若シ製絲家ナ
リ、乃至ハ生絲關係ノ業者ナリ、乃至
ハ所謂金融資本ト云フヤウナ方面ノ、
特別ナ壓迫ナリ關係ナリニ依リマシ
テ、特ニ乾繭組合ト云フモノ、即チ養
蠶家ノ味方デアリマス乾繭組合ト云フ
モノヲ、此組合ノ中カラ除外シタモノ

デハアルマイカ、更ニ又本蠶絲業組合
ト云フモノハ、今マデ養蠶家ガ虐ゲラ
レタ立場ニアッタ、其改善ヲ目的トシタ
二百萬養蠶家ノ希望ノ聲デアッタノデ
アリマスガ、其意味ノ改善ト致シマシ
タナラバ、尙ホ其點ニ於テノ危惧ガ吾
吾ニハアルノデアリマスガ、左様ナ事
ハ全ク無カッタモノデアリマスカドウ
カ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレ
カラ私ハ本日頂戴致シマシタ各種ノ參
考資料等モマダ通覽シテ居リマセヌノ
デ、私ノ質問ハ本日ハ此程度ニ止メマ
シテ、又時間ガゴザイマシタナラバ更
ニ質問ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 相成ルベクハ更ニ適
當ナ機會ニ於テ、横川君ノ御質問ノヤ
ウナコトハ此法案ヲ完備セシメル上ニ
於テモ必要ダト思ヒマスカラ、出來ル
ナラバ其機會ヲ御作リ下サルコトヲ私
ハ委員長ニ御願ヒ致シテ置キマス、ソ
レカラ此表ヲ御覽下スッテモ輸出業者
ノ組合ト問屋組合ニ重キヲ置イテ、何
カ養蠶業ノ方ノ組合ヲ比較的分類カラ
見マスレバ、重ク見テ居ラヌト云フヤ
ウナ御感ジモアルカモ知レマセヌガ、
實ハ此法案ヲ作ル上ニ於テ非常ニ苦心
ヲ致シタノデアリマス、産業組合ト、
農會ト、此組合ト三ツノ間ノ連絡區別
ヲ致スニ付キマシテモ、實ハ農林省內
ニ於テモ色々議論ガアリマシテ、一時

ハ餘程困難ヲシタノデアリマス、見ヤ
ウニ依リマス、此組合ヲ新ニ作リマ
シタ爲ニ、從來町村ノ農會ノヤッテ居
タ仕事トカチ合フ所ガアリ、産業組合
系ノ組合トカチ合フ所ガアリ、ドウモ
實ハ此點ニ於テ非常ニ困難ヲシタ結
果、任意加入ナント云フ少シ妥協ナ
案ガ已ムヲ得ズ茲ニ出來タ事情モ一ツ
御諒承願ヒマス、ソレカラ輸出業組合
ト問屋業者ハ大體ニ於テ利害ガ相反シ
テ居ルト申シテ宜シイ、一方ハ買手、
一方ハ賣手ト云フ立場ニアリマスカ
ラ、之ヲ合シテ一ツノモノニ致スコト
ハ到底出來ナカッタノデアリマス、左様
ナ次第デアリマスカラ、今日ノ御答ハ
御不満足ノ所モアリマセウガ、尙ホ仔
細ハ此次ノ機會ニ於テ御尋ネ下スツタ
時ニ、私等ノ方ニ於キマシテモ大抵御
質問ノ趣意ヲ諒解シマシタカラ、十分
局長等ヨリ答辯サセマス

○小山委員長 横川君ノ御質疑ハ暫ク
保留致シマシテ次ニ高橋守平サンノ御
質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高橋(守)委員 私ハ主トシテ今横川
君ト農林大臣並ニ政府委員トノ間ノ質
問應答ニヤハリ關聯シタ問題ヲ御尋ネ
ショウト思フノデアリマスガ、第一ニ
此蠶絲業組合法案ノ中ノ第一條ヲ六種
類ニ分ケマシタ、其中ヘドウシテ乾繭
組合ヲ入レナカッタカト云フコトヲ先

ニ於テモ色々議論ガアリマシテ、一時
組合ヲ入レナカッタカト云フコトヲ先

以テ御伺ヒ致シテ置キマス

○町田國務大臣 横川君モ主トシテ只今高橋君ノ御尋ト同様ノ趣旨ガ中心トナツテノ屢、御尋デアリマス、隨ヒマシテ先刻横川君ニ御答シタ以上ニ他ノ

○高橋(守)委員

私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

言葉ヲ以テ、御了解ヲ得ルヤウナ答辯ハ餘程困難デアリマスガ、唯製絲業組合ノ聯合會、隨テ道府縣ノ製絲業組合ガアリマス、茲ニ持ッテ來マシテ産業組合ノ製絲組合、所謂製絲ナルモノガ一ツノ獨立シタ團體ヲ爲シテ居リマス、是カラ見マスト横川君ト高橋君ノ御話ノ如ク、將來理想トシテ發達セシムベキ乾繭組合ヲ何カ一本トシテ立テ、行クコトガ御希望ラシクモ考ヘラレマスガ、製絲業組合ニ於キマシテ、組合製絲ヲ一絡ニ製絲業組合ノ中ニ入レルコトハ理論トシテモ困難デアリマス、一面ハ養蠶家ノ利害ト切離シタル營業製絲カラ成立ツタ組合デアリマス、一方ノ所謂製絲ナルモノハ養蠶家ト製絲家ノ利害ヲ一團トシテ出來タ組合デアリマスルガ故ニ、營業製絲組合ト組合製絲ノ團體トヲ一團トシテ一ツノ組合トスルコトハドウシテモ理論上モ出來ナカッタ爲ニ、之ヲ二ツニ分ケタノデアリマス、隨テ乾繭組合ノ方ハ發達ノ順序カラ今日ノ現狀ニ即シテ申シマス、組合製絲程全國ニマダ遺憾ナガラ擴ガツテ居ラスト云フコトノ

極ク直截的ニ御尋致シマスガ、蠶絲業組合法ヲ作ッテ精神ガ、公法人トシテ之ヲ作ッテデアツテ、經濟團體トシテノ財團法人的ノ意味デナイト云フ風ナ意味合カラ、乾繭組合ヲ除イタト云フ風ナ先刻局長カラノ御答ガアツタ、只今農林大臣カラノ御言葉ノ中ニハ、産業組合製絲ノ普及狀態ト乾繭組合ノ普及狀態トガ違フカラ、ソレモアツタト云フ風ナ御答辯ガアリマシタ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、乾繭取引ヲ促進スル、又乾繭裝置竝ニ乾繭倉庫ノ普及發達ノ爲ニハ、我ガ蠶絲業ノ爲ニ十分努力スルト云フ風ナ御言葉モアツテ、而モ現在ニ於テモ相當ノ助成金ヲ出シテ居ラレ

ソレカラ普及狀態カラ言ヒマシテモ、組合製絲ト云フノハ主トシテ三縣乃至四縣ニ徹底シテ居ルダケデアツテ、全國的ニ普及シテ居ルトハ申サレナイ、サウ致シマス、現在ノ乾繭組合モ、成程全國的ニハ普遍的ニハ徹底シテ居リマセヌケレドモ、或ル府縣ニ於テハ相當發達シテ居リマス、而モ其府縣ニ於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○小平政府委員 私カラ御答ヘ致シマス、私ハ公法人デアアルカラ乾繭組合ガ獨立ノ名前ヲ持タヌト云フヤウナ意味ハ申上ゲタ積リデハゴザイマセヌ、少シ私ノ言葉ガ足ラナカッタカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味デ申上ゲタ積リデハゴザイマセヌ、産業組合經營ノ乾繭組合ガ何故六種ノ組合ト同ジヤウニ一ツノ獨立ナ名稱ヲ持タヌカト云フコトガ一ツノ御質問デアアルヤウデアリマスガ、産業組合ノ繭ヲ乾繭シテ賣ルト云フ共同販賣事業デケ考ヘマスレバ、養蠶實行組合ノ行フ場合ノ共同販賣事業ト全ク同ジデアリマス、養蠶業者ノ生産シタル繭ヲ製絲業者ニ共同販賣スル、乾繭組合モ同ジヤウニ養蠶業者ノ生産シタル繭ヲ製絲業者ニ共同販賣スルト云フ、同ジ事業デアリマス關係上、養蠶業者ノ團體タル都市養蠶組合ニ這入ルノガ適當デアアル、別ニ名稱ヲ付ケ

テ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

○高橋(守)委員 私時間ヲ惜ミマシテ

意味モ加ハリマシテ、認可加入ニ依ッテ郡ノ養蠶業組合ニ利害ガコ、デ現ハサレテ來テ、ソコデ統制セラレルト云フコトニ致シタノデアリマス

於テハ乾繭組合聯合會ヲ組織シ、其聯合會ノ集リハ形式デアリマセウケレドモ、法ハ認メテナイ、申合セ團體デアリマスケレドモ、中央ニ於テ統制ヲ取ツテ、蠶絲業ノ運動ヲ行ツテ居ルコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、ドウシテモヤハリ此六種類ニ分ケラレタ、其中ニ乾繭組合モ入レテ欲シイト思ヒマス、ソレハ此表ヲ拜見致シマシテモ、郡市養蠶業組合ト云フモノニハ認可加入ガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、現在政府ガ助成シテ行ハセテ居リマス所ノ乾繭設備竝ニ乾繭倉庫ニハ制限ガアリマシテ、三千石以上收容スル所ノ倉庫デナケレバイカヌトカ、乾燥能力ガ一千貫以上デナクテハイカヌトカ、寄託スル所ノ荷物ガ百五十石以上デナケレバナラヌト云フ風ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ當然郡以上ノ範圍デナケレバ設立ガ不可能デアリマス、ソレカラ見マス、當然郡市養蠶業組合ト對抗スル

カ、若クハソレ以上ノ廣範圍ノ格式ト言フトオカシイノデアリマスガ、兎ニ角意味ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマシテ、サウシマス、此認可加入ガ養蠶實行組合、是ト同等ノ所デ行クコトハ、何カノ點ニ於テ非常ニ不便ヲ感ズル、サウシテ政府ガ指導獎勵セラレル乾繭組合ノ發達ノ上ニ、非常ナ障礙ヲ來スト考ヘルノデアリマス、ドウ云フ風ナ御意見デアリマス、カ共點ヲ伺ヒマス

ルト云フ特別ノ事業ノヤウニハ考ヘナ
カッタノデアリマス、繭ノ共同販賣ト云
フ點モ押ヘテ來レバ、養蠶實行組合ト
同ジデハナイカト云フコトカラ、斯ウ
云フ種類ニ分類シタ譯デアリマス、ソ
レカラ第二ノ御質問ノヤウニ、産業組
合ノ乾繭事業ガ相當ノ設備ガ要ルコト
ハ當然デアリマス、隨テ區域ハ或ハ數
箇村ノ區域モアリマスレバ、或ハ郡市
以上ノ區域モ乾繭組合ノ區域トシテ出
來ルコトハ當然デアリマスガ、併シ乾
繭組合ノ事業トシテハ、ヤハリ郡市區
域位デ、共同販賣事業ハ、他ノ乾繭組
合デナイ養蠶實行組合デ、個々ニヤッテ
居ル共同販賣事業ト同ジヤウニ、郡市
區域位デ纏メテ居ル、又纏メネバナラ
ヌ實情ガ相當アルノデハナカラウカト
思ヒマス、隨テ乾繭組合ノ區域ガ、郡
市以上ノ區域ニナリマシテモ、個々ノ
仕事ニ於テハ、ヤハリ郡市ノ養蠶業組
合ノ個々ノ仕事ノ點ニ於テ加入シテ、
養蠶業組合ト一緒ニ、繭ノ共同販賣事
業ノ統制ヲスルト云フコトガ、養蠶家
ノ繭ヲ最も有利ニ、又公平ナル取引ニ
ナラシメルト云フ點ニ於テ、最も適當
デハナカラウカト考ヘタ結果、乾繭組
合モ、養蠶業組合ニ入ッテ一緒ニナル
ト云フコトノ建前ニ立案シタ譯デアリ
マス

○高橋(守)委員 尙ホ養蠶業組合ノ仕

事ノ中ニ、共同販賣ト云フヤウナコト
ガアリ、此點ハ共通ナ見方モ出來マス
ガ、先程申シタヤウニ、現在政府ガ獎
勵シテ居ル乾繭設備、乾繭倉庫ノ助成
ハ、或ル程度ノ限度ヲ示シテ、小サナ
養蠶實行組合デハ出來得ナイ法規ニナ
ッテ居ル、サウスルト此表ヲ見マシテ
モ、今全國ニ二萬幾ツノ養蠶組合ガア
リ、ソレノ共同販賣ノ仕事モヤッテ
居リマスガ、現在私共ノ憂ヘテ居ルノ
ハ、生繭取引ニ依ッテ生ズル弊害デア
ル、現在ノ設備ニ依ッテハ、乾繭取引マ
デハ行カナイ、ソコデ政府モ銳意力ヲ
入レテ、乾繭取引ニシヨウト云フ御方
針デゴザイマセウガ、今ノ規定ニ依レ
バ實狀ニ即シテ、郡以下デハ中々出來
ナイ仕事ノ容積ニナッテ居ル、サウス
ルト結局乾繭組合ハ郡以上ノ範圍ヲ其區
域トシテノ組合ニナッテ來ル、サウス
ルトドウモ養蠶實行組合ト共同ノ點モア
ルカモ知レマセヌケレドモ、其區域ニ
非常ナル違ヒガアリマシテ、其間ヲ融
和渾一サセルト云フコトハ随分困難デ
アル、現在マデノ遣リ來リヲ見テモ、
全國ノ養蠶組合聯合會ガアリ、ソレガ
集ッテ帝國養蠶組合ニナリ、ソレニ對シ
テ、對抗スルト言フトヲカシイガ、自
然ニ離レテ各府縣ノ乾繭組合聯合會ヲ
作り、其上ニ中央會ヲ存置シテ、共々
ニ養蠶業發達ノ爲ニ盡シテ來タ歴史モ

アル、サウス云フ點カラ考ヘマシテ、ヤ
ハリ六團體ト同ジヤウナ意味ニ於テ、
乾繭組合ト云フモノヲ御考ヘ下サル譯
ニハイカヌカ、モウ一ツハ乾繭事業其
モノヲ普及シ、促進スルト云フ風ナ、
指導精神ヲ政府ハ御有チニナッテ居ル
ト思ヒマスガ、結局一ツノ團體、力強
ク團體トシテ認メテ、ソレニ向ッテ全
ヲ擧ゲサセルト云フ方針デ進ムコト
モ、促進スル一方法デアル、先程大臣ノ
御言葉ノ中ニモ、將來ハ或ハ此法規ヲ
改正シテ、加入サセルカモ知レヌト云
フヤウナ御言葉ノアッタ位デアリマシ
テ、加入サセルカモ知レヌト云フヤウ
ナ御志ガアルトスレバ、現在モ此蠶業
組合製絲ノ普及狀態ト、大體同ジヤウ
ニナッテ居リマスカラ、此際一ツ思ヒ切
ッテ、六團體ト拮抗シタ乾繭組合ト云フ
モノノ團體ヲ、御認メニナルコトハ出
來マセヌカ、其點ヲ一ツ御尋致シマ
ス

○町田國務大臣 私ノ方ハ、中央ノ最
高機關ニ於テ統一ハサセマスモノ、
全國ノ聯合會ノ數ヲ、出來ルナラバ餘
リ數多クシタクナイ、統一ヲ致ス點ニ
於テモ、全國聯合會ノ業態ニ依テ分ッ
團體ヲ、出來ルダケ少クシタイ考ヘヲ
以テ、問屋ト輸出業者ハ、或ハ出來マ
イカト研究モ致シマシタガ、ドウモ其
性質ガ賣手ト買手ノ關係カラ、同ジ團
體トスル譯ニ行カナカッタノデアリマ
ス、ソレカラ製絲業ノ組合モ、此處ニ
問題ニナッテ居ル組合製絲ト云フモノ
ハ、製絲家中心デアルカ、養蠶家中心
デアルカト云フト、ドウモ是ハ、製絲團
體ノ中ニ組合製絲ヲ入レル譯ニモ行カ
ズ、養蠶組合ノ中ニ入レル譯ニモ行カ
ナイカラ、已ムヲ得ズ之ヲ獨立シタ團
體ト致シタノデアッテ、製絲家ニ重キヲ
置イタ譯デモナク、養蠶家ニ重キヲ置
イタ譯デアリマセヌガ、何方カト言
ヘバ養蠶家ヲ中心トシテ出來マシタ製
絲業デアリマス故ニ、若シ二者何レニ
重キヲ置クカト言ヘバ、養蠶家ニ重キ
ヲ置イタ形ニナッテ居リマス、ソコデ養
蠶組合ノ中ニハ、之ヲ更ニ分ッテ乾繭組
合ヲ養蠶業組合カラ別個ニ致スコトハ
如何ナモノカト、當時相當ニ研究シマ
シタガ、遂ニ此産業組合系ニ依ッテ出來
テ居ル乾繭組合ハ任意許可ニシテ、養
蠶組合ガ入ル大體ノ大キナ輪ノ中ニ
ハ、乾繭組合モ養蠶業ノ一ツト相成ッ
テ居ルガ故ニ、之ヲ總括シテ養蠶組合
ノ中ニ入レルコトハ、餘リ團體ノ數ヲ
多クスルヨリハ、此方ガ統制ノ爲ニ宜
カラウト云フ見地カラ、斯様ニ致シタ
ノデアリマス

○高橋(守)委員 是ハ先以テ御斷リシ
テ置キマス、私ハ此蠶絲業組合法ヲ一
刻モ速ク定メマシテ、之ヲ公表シタイ

ト思ッテ居リマスガ、私ノ御尋スルコト
ノ爲ニ時間ヲ取ッテ、之ガ遅レルヤウナ
コトガアルト、非常ニ残念ニ思ヒマス
ガ、只今ノ大臣ノ御言葉ハ、御尤ト思
フノデアリマス、成ベク數ヲ少クシテ、
統制ノ實ヲ舉グルコトハ私モ同感デア
リマスガ、今ノ御話デ、産業組合製絲組
合ト云フモノ、産業組合ニ依ル製絲組
合ト製絲業組合ト云フ方ノ關係ハ、ド
ウシテモ性質ニ於テモ違ヒマスカラ、
是ハ別個ニシナケレバナラヌト考ヘテ
ヤッタ、ソレカラ生絲問屋ト生絲輸出業
者トノ間ハ、ヤハリ利害相反スルカラ
ヤッタンダト云フ、御尤ナ御話デゴザイ
マス、併ナガラ今日ノ新聞紙ガ傳ヘル

者ノ中ニモ二ツノ團體ガアルト致シマ
スレバ、今モ申上ゲマス通り、過去ニ
於テ帝國養蠶組合ト云フノガアルト同
時ニ、乾繭組合ノ團體ガアッタコトモ
事實デアリマス、是ハ法規ノ示ス團體
デハナイガ、申合ノ團體ガアッタコトハ
事實デアリマス、サウスルト養蠶業者
ト、製絲業者、生絲業者ト、此三ツヲ打
ッテ一丸トシテ我國蠶絲業ヲ考ヘルト
致シマスレバ、總テノ形式ニ於テモ、内
容ニ於テモ、同ジ對等ノ地位ニ置イテ
下サルト云フコトガ、養蠶業者ヲシテ
安心セシムル點ダラウト思ヒマスガ、
斯ウ云フ點ニ對シテドウ御考ヘニナリ
マスカ

○町田國務大臣 其御尋ニ對シテハ、

所ニ依ルト、折角蠶絲業組合法ヲ制定
シテ、養蠶業者竝ニ製絲業者、竝ニ生
絲業者ヲ打ッテ一丸トシテ、渾一シタカ
デ以テ我國ノ蠶絲業ヲ發達サセヨウト
云フヤウナコトヲ履キ違ヘテ、ヤハリ
或種ノ上ニ立ッた者ノ爲ニ二百二十萬
戸ノ養蠶業者ガ賣ラレタシタ、之ニ依
ッテ養蠶業者ハ二三ノ人ノ爲ニ賣ラレ
テシマッテ、製絲業者ノ損害ヲ轉嫁サセ
ラレル所ノ、依然トシテ弱者ノ立場ニ
立ッノデアルト云フヤウナ批評ガ、今
日モ新聞ニ出テ居リマス、ソレヤ是ヤ
ヲ考ヘテ見マシテ、先程モ横川君ノ御
質問ノ中ニアリマシタ通り、製絲ノ方
爲ニ出來テ來タモノデアリマス、製絲
業ノ利益ノ爲ニ組合製絲ガ出來タノデ

○町田國務大臣 其御尋ニ對シテハ、
私ハ直グ前ニ御答致シタ中ニ入ッテ居
ルト思ヒマス、高橋君ノ御考デハ、製
絲業ノ組合ト、組合製絲ノ製絲組合ト、
二ツトモ是ハ製絲家ノ方ニ——製絲家
ヲ分ッテ一般製絲業組合、竝ニ組合製絲
ノ組合ト、斯ウ御覽ニナッタヤウデアリ
マス、私ハ其前ニ、ドチラガ重イカト云
フコトハナク、養蠶業ト製絲業ヲ合シ
テ一團トシタ組合製絲ノ組合ト、斯ウ
申シタノデアリマスガ、併シ何故ニ組
合製絲ト云フモノガ置カレテ來タカト
云フ原因ヲ見マスト、養蠶家ノ利益ノ
爲ニ出來テ來タモノデアリマス、製絲
業ノ利益ノ爲ニ組合製絲ガ出來タノデ

ハナイ、其點カラ見マスト、逆ニ製絲
家ノ方カラ言フト、製絲業ニ對シテハ、
組合ガ一ツヨリナイヂヤナイカ、養蠶
業ニ對シテハ養蠶組合ト、組合製絲ト
云フ、所謂養蠶業ヲ主タル者ニ置イタ
ノト二ツアルヂヤナイカト云フ、寧ロ
製絲家ノ方カラ、サウ云フ批評モ生ジ
ハセヌカト、斯ウモ思ハレマス

○高橋(守)委員 御尤モデゴザイマス

ケレドモ、私が申上ゲタ關係ハ、ツマ
リ組合製絲ト云フモノハ、勿論其組合
製絲ノ組合員ハ養蠶家デアッテ、養蠶家
ノ味方デアルト云フコトハ確デゴザイ
マス、現在ノ組合製絲ト云フモノヲ、
吾々ガ合理的ニ助長發達サセナケレバ
ナラス、我國蠶絲業ノ將來ハ、聽テ組
合製絲ノ力ニ依ッテ、丁度我國ノ農村
ガ、産業組合ノ力ニ依ッテ經濟方面ヲ
救済サレルト同ジ意味ニ於テ、組合製
絲ノ力ニ依ッテ、ヤハリ救ハレナケレバ
ナラヌト云フ意見ヲ持ッテ居ル一人デ
アリマス、現在ノ組合製絲ノヤリ方ヲ
見マスト、組合員ノ生産シタ繭ヲ以
テ製絲ヲスルト云フノデナク、組合製
絲ガ、脱稅組合ノヤウナ意味ニ於テノ
方法デ繭ヲ買入レテ、其組合製絲ノ名
ニ隠レテ仕事ヲヤルト云フヤウナコト
ガ常識的ニナッテ居リマス、サウ云フ點
カラ見マシテ、養蠶業者ニ響ク響ハ、
即チ製絲業者トシテシカ響カナイ、假

リニ大臣ノ申サレルヤウニ、養蠶業者
ノ方ヂヤナイカト云フヤウナ御話ガア
ッタガ、生絲業者ガ二ツニ分レテ居ル
ハ、是ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマ
スカ

○町田國務大臣 問屋ト輸出業者ト二

ツニ分ケマシタノハ、先刻モ申シマシ
タ通り非常ニ考慮シマシタ、一ツハ賣
手、一ツハ買手ト云フ利害ノ、全然相反
シテ居リマスモノヲ一團トスルノハ如
何カト思ヒマシテ、之ヲ二ツニ分ッタ譯
デアリマス、ソレカラ前ノ横川君ノ御
尋モ、高橋君ノ御尋モ一緒デアリマス
ガ、大體ニ於テハ吾々ハ組合製絲ヲ理
想トシテ參ルノデアリマス、是モ相當
ナ年數ガ掛リマセウ、營業製絲ニ對抗
シテ、更ニ營業製絲ヲ凌イデ、組合製絲
ガ全國ニ普及スルト云フ理想ヲ實現ス
ルニハ、相當ナ年數ハ掛リマセウ、併シ
假リニ此理想ヲ本トシテ考ヘマスト、
此中ニ大キナ團體ノ一ツトシテ、乾繭
組合ヲ入レル必要ハ、組合製絲ヲ理想
トシテ進ンデ參リマスト、其普及ニ依
ッテ、自ラ乾繭組合ト云フモノモ、之ヲ團
體トスル必要ガ減ッテ來ヤセヌカト思
フ、ソコニ方針ガ矛盾シテ來ヤセヌカ
ト云フコトヲ御考ヲ願ヒタイ

○高橋(守)委員 御尤モデス、組合製

絲ガ普及サレテ來マスレバ、其普及ノ
極致ハ、斯ウ云フ風ナ各種團體デナク

テモ、組合製絲家自體ガヤツテ行クコト一ツノ途ヲ伸バサセルト云フ方針ハ、ニナツテ行ク、段々團體數ガ減ツテ行ク 農林省ノ乾繭取引ヲ促進スルト云フ方針ト思ヒマス、ダカラ私共ノ理想ハ、組合針ト合致スルモノダト思フ、サウ云フ製絲萬能主義ヲ奉ズルモノデゴザイマ

スガ、養蠶業者ノ自覺ニ俟タヌト、組合製絲ノ發達ハ出來ナイ、自覺ニ俟タヌ中ニ出來タ組合製絲ト云フモノハ、先程申上ダタヤウニ、可ナリ弊害ヲ伴ッテ居ル、私共ガ平素單純ニ常識的ニ考ヘテ居リマス點デハ、組合製絲ト云フモノガ、養蠶業者ノ味方ト云フ觀方デナクテ、ヤハリ單純ナル製絲業者デアルト云フ風ニ響ク、ソレ程弊害ガ入ッテ居ル、ソコデ組合製絲ガ發達シテ行ケバ、乾繭組合ニ加入スル必要ハ益、少クナルダラウト云フ御説ヲ承ッタノデアリマスガ、中々ソレガ發達シテ行カナイト云フ半面ニ、政府ノ指導獎勵ガ徹底シテ參リマシテ、現在ノ乾繭設備、乾繭倉庫ニ對スル助成規定ニ依ッテ、アノ乾繭倉庫ヲ造ラシテ、其乾繭組合ト云フモノヲ普及サセルト、益、其關係ノ團體ガ多クナツテ來ル、養蠶業組合ノ方ガ、養蠶業全般ニ互ッテノ目的ヲ以テ進ム團體ニ比較シテ、乾繭組合其モノハ、乾繭取引ニ對シ——唯一ノ目的ニ對シテ力ヲ入レルノデアリマスカラ、結局同一ノ目的トハ言フモノノ、其間ニ餘程輕重ガ出來テ來ルト思フ、サウ考ヘマスト、一ツノ伸ブベキモノハ、ヤハリ

一ツノ途ヲ伸バサセルト云フ方針ハ、農林省ノ乾繭取引ヲ促進スルト云フ方針ト合致スルモノダト思フ、サウ云フ點ニ關シテドウ御考ヘニナリマスカ

○町田國務大臣 此問題ハ、横川君ノ御質問ノ中心モソコニアリ、又高橋君ノ御質問ノ中心モソコニアリマシテ、農林當局ノ此案ヲ提出致シマシタ理由ハ、一通リ申述べテアリマスガ、

〔委員長退席、青木理事著席〕

次第質問應答ヨリ、意見ノ交換ニ進ンデ來マシタカラ、他ノ質問ヲ先ヅ先ニ進メマシテ、他日又互ニ意見ヲ交換スル時ニ、御話ヲ願ッダ方ガ宜カラウト思ヒマス

○高橋(守)委員 御尤モデゴザイマス、サウ云フ風ニ陷ル虞レガアリマスカラ、私ノ之ニ關スル質問應答ヲ保留シテ他ノ方ニ譲リマス

○青木委員長代理 高橋君ノ質問ハ保留サレテ一時打切ニナリマシタ——林君

○林委員 私ハ生絲同業組合ト云フ方面ニ付テ、所謂蠶絲業國難ト云フ位ニ行詰ツテ居リマス養蠶家二百萬、並ニ製絲業者三千、是等蠶絲業關係者ノ今日ノ其窮狀ハ、洵ニ見ルニ忍ビザルヤウナ次第デアリマス、而シテ各團體ガ了解ノ下ニ、斯様な法律ヲ作ッテ、最善ヲ盡スト云フコトニ付キマシテハ、洵ニ結構ナコトデアリマス、大體此目的ハ何レニ在ルカト云ヘバ、則チ生絲ヲシテ相當ノ價格ニ安定シテ之ヲ賣ルト云フコトガ、最モ其蠶絲業ノ根本デハナイカト私ハ思フノデアリマス、故ニ政府ニ於カレマシテハ、今日マデ蠶絲業ニ對シマシテ相當御援助モ下サリ、又相當ナル御手配モシテ戴イタコトハ承知シテ居ルノデアリマスガ、將來ニ於キマシテ、生絲ノ相場ノ安定ト、而シテ賣先ニ、モウ少シ相場ヲ上位ニ置クト、斯様な方針ヲ執ッテ戴カナケレバ、色々ノ法ヲ作ッテ見マシタ所ガ、根本ニ於キマシテ生絲ノ價格ガ安カッタナラバ、是ハドウスルコトモ出來ナイト思フノデアリマス、其御所見ヲ伺ヒマシタ上、又色々ト伺ッテ見タイト思ヒマス

○町田國務大臣 林君ノ御話ノ通り、種々ナル蠶絲業ニ關スル施設ハ、出來ルダケ生絲ノ價格ヲ好クシテ、我が最大輸出重要品タル生絲——所謂蠶絲業ノ安定發達ヲ圖ルト云フコトノ御趣意ニ付キマシテハ、勿論同感デアリマス、併シ生絲ノ價格ヲ出來ルダケ良クスルト云フ意味ハ、同時ニ繭ノ價格ヲ安定シ、其價格ヲ良クスルト云フ意味ヲ含シ、其價格ヲ維持スルコト云フ御趣意デアルト了解スルノハ勿論デアリマス、林君ノ御趣意モソコニ在ルト

思ヒマス、ソレガ爲ニ全國ヲ通ジマシタル養蠶業、或ハ蠶種製造業及ビ製絲家、其他ニ團體、六團體ヲ打ッテ一團トシタル統制ガ、此一兩年ノ製絲業ノ發展ニ付キマシテ、一層痛切ニ統制ヲ必要ト感ジタノデアリマス、此價格ノ維持ト云フ意味ニ於キマシテハ、私共ハ斯様な考デアリマス、生産費ヲ償フ上ニ於テ、出來ルダケ生絲ノ價格ヲ安クセンケレバ、眞ノ國策ガ立ツマイト云フ意味カラ出發致シテ居ルノデアリマス、即チ養蠶家ニ對シテハ、先刻モ申シタト思ヒマスガ、桑園ノ改良、優良蠶種ノ普及、或ハ現金トシテ最モ多ク出シマス所ノ肥料ノ配給、或ハ出來ルダケ低價ニ之ヲ與ヘルト云フヤウナ、總テノ施設ガ相俟ッテ、相當ナ利益ヲ養蠶家製絲家ニ與ヘルト同時ニ、支那生絲ノ進出ニ對シテ對抗スルコトガ出來ル點ニ於テハ、出來ルダケ生産費ヲ安クシテ、養蠶業者、製絲家ノ利益ト矛盾セヌヤウニ、舵ヲ取ッテ行クコトガ、今日最モ必要ト思ヒマス、故ニ林サンノ御尋ニ對シテハ、統制ノ力ニ依ッテ、御意見ノ如ク生絲ノ價格ヲ維持シテ——生絲ノ價格ヲ維持スルコト云フ意味ハ、從來往々ニシテ養蠶家ノ利害ヲ犠牲ニシテ、製絲家ガ製絲業ノ利益ヲ圖ッタ時代ハモウ過去ノ夢デアル、今後ハ養蠶家ノ利害ト製絲家ノ利害ヲ一一致サシタ

上ニ、其價格ヲ維持シ、其維持スベキ價格ハ、生産費ヲ償フタニ、出來ルダケ之ヲ安クスルト云フ國策ガ必要デア
ル、大體サウ考ヘテ居リマス

○林委員 只今大臣カラノ御答辯中、勉メテ生産費ヲ低下サシテ、之ヲ製造シテ行クト云フコトハ、是ハ洵ニ當然ノ事ノヤウニ存ジマス、人造絹絲ナドノ發達ニ從ッテ、天然絹絲モ相當價格ヲ安クシナケレバナラヌト云フコトハ、只今大臣ノ仰シヤル通りト存ズルノデアリマスガ、玆ニ現在ノ生絲ヲ輸出スル所ノ、假ニ亞米利加ト申スカ、或ハ歐洲方面ニシテモ、生絲ガ生産過剰デア
ル爲ニ、斯様ナ暴落ヲスルガ、私ハ或ル一面カラ聞及ンダ所ニ依リマスレバ、或ハ輸出業者ナドガ、自己ノ持荷ノ相場ヲ維持センガ爲ニ、ソコニ一ツノ手段ヲ以テ絲價ヲ左右スルガ如キ事ガアリハシナイカ、是ハ事實アルヲシ
イヤウニ思フ、私共ハ自分ガ養蠶地ニ生レテ居リマス爲ニ、常ニ此事ヲ心配シテ居ル、事實ヲ突留メテ斯様ナ爲ニ
斯様ナ事ガアルト云フマデノ立證ヲシテ御話スルコトハ出來ナイノデアリマ
スガ、海外ノ事情ノ爲ニ、我ガ二百萬ノ養蠶家、三千以上ノ製絲業者ガ行詰
ル迄ノ困難ニナツテ居リマス間ニ於キ
マシテハ、中途ニ何カ理由ガアリハシ
ナイカ、斯様ナ風説ヲ耳ニシテ居リマ

言申添ヘテ置キタイノハ、數日前國家ガ一切ノ生絲ノ品位ヲ検査シマシテ、國ガ品位ヲ定メルト云フコトノ法案ヲ出シマシテ、幸ヒニ衆議院ニ於テハ御協賛ヲ得マシタ節ニ、政友會ノ委員カラノ御希望デアリマシタ通り、遠カラ
ズ此案ガ出來マスト、現物取引ノ促進ヲ圖ル積リデアリマス、清算取引ニ於
キマシテハ色々ナ動機カラ波瀾ヲ來シ
テ、是ガ爲ニ輸出貿易ヲ、場合ニ依
テハ少ナカラズ阻害シテ居ル點ガアリ
マスカラ、遠カラズ國ノ検査ヲスルコ
トノ法律ガ實現スルト同時ニ、當局ト
シテハ更ニ現物取引ヲ促進シマスレ
バ、林君ノ御意見ノ中ニアル弊害ノ一
部ハ、ソレニ依ッテ相當ニ救ハレハシ
マイカト、斯様ニ感じテ居リマス

○林委員 只今農林大臣カラノ御言葉
デ諒解致シマシタガ、マダ一二疑問ノ
コトハ、先程御答辯ノアリマシタ中ニ、
此組合製絲ト、普通一般製絲トノ利害
ノ違フ如ク、此間屋業並ニ輸出業者ト
ハ、同ジ横濱ニアリマスト申シマスモ
ノ、同一ノ關係ニアリヤウニ見エテ、
實際其間ニ立入ッテ見レバ、一方ハ賣
手デアリ、一方ハ買手デアアル、斯様ニ
利害ヲ異ニスレバ、從ッテ斯様ナル利害
ノ違フモノガ一致團結シテ仕事ヲスル
ト云フ迄ニ行ケバ、至極圓滿ニ事ガ解
決スルヤウニハ思ハレマスケレドモ、

固ヨリ賣手ト買手ト云フモノ、利害ノ
違フコトハ當然デアリマスガ、是ハド
ウ云フ理由デ此團體ノ中ニ御加入ニナ
ッタノデアリマスカ、實ハ先刻ノ説明中
ニ聽キ漏レタノデアリマス、ソレヲ一
寸御聽カセヲ願ヒマス

○町田國務大臣 農林當局ノ立場ニ於
テ、只今ノ御質問ニ對シテ責任ヲ以テ
御答辯致スコトハ頗ル困難デアリマ
ス、往々新聞紙上等ニ於キマシテハ、
林委員ノ御話ノヤウナ非難ノアッタ時
代モアルコトヲ承知致シテ居リマス、
又先年正量取引ヲ法律ニ依ッテ定メ
ス時ニ於キマシテモ、相當輸出業者ト
製絲家ト利害ヲ異ニシテ、此法案ノ通
過ニ於テ、相當院ノ内外ニ於キマシテ
混雜ヲ惹起シタ事情モアルノデアリマ
ス、併シ昨年ノ經驗ニ依リマシテ、亞
米利加ノ絹業協會ノ態度、竝ニ亞米利
加市場ニ於キマスル取引關係等、種々
ナル波瀾ヲ來シマシテ、ソレガ内地ノ
輸出業者邊リニモ尠カラザル影響ヲ及
ボシタ事モアリマタガ、今日デハ、輸
出業者製絲業者ノ意思ガ合致シマシ
テ、製絲業者ノ利益ヲ犠牲ニシテ、問
屋或ハ製絲家ガ自己ノ營業ノ利益ノミ
ヲ圖ルト云フコトガ、今日デハ最早ヤ
過去ノ夢ト相成リマシテ、現在ニ於テ
ハ左様ナ事ノナイ、各業者誠意ヲ以テ
一致團結シテ日本ノ製絲業ノ益、隆盛
ナル事ヲ希望スルコトニ於テ、意見ノ
一致ヲ致シタコトハ疑ヒマセヌ、唯一

○小平政府委員 輸出業者組合ハ、輸出
業者ヲ以テ組織シテ居ル團體デアリマ
シテ、日本ノ蠶絲業ノ海外販路、又日
本ノ蠶絲ノ海外輸出ト云フ點カラ考ヘ
マスレバ、輸出業者ノ業務ト云フモノ
ハ、日本蠶絲業ノ全體ニ對シテ重要ナ
ル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨
テ日本ノ蠶絲業全體ノ統制ヲ圖ル場合
ニ於キマシテハ、輸出業者組合ノ行動ト云
フモノガ、重要ナル關係ヲ持ッテ來ル譯
デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ、
蠶絲中央會ノ國策ニ關スル重要ナル事
業ニ對シマシテハ、常ニ輸出業者ハ之
ニ參加シテ、或ハ輸出業者ニ於テ積立
金ヲ取ッテ戴クトカ、或ハ問屋カラ輸出
業ニ行ク取引、或ハ製絲業カラ直接輸
出業者ニ行ク取引、總テ神戸横濱ニ於
ケル日本ノ生絲取引ト云フモノガ、輸
出業者側、問屋側、製絲側等ガ加ハッテ、何
時デモ取引ノ關係ヲキメテ居ルト云フ
ヤウナ事情デアリマス、隨ッテ組合ハ輸
出組合、問屋業組合ト別レマシテモ、
日本中央蠶絲會ニ入ッテ、國家的ノ立場
カラ、日本ノ蠶絲業ヲ考ヘル場合ニ

○小平政府委員 輸出業者組合ハ、輸出
業者ヲ以テ組織シテ居ル團體デアリマ
シテ、日本ノ蠶絲業ノ海外販路、又日
本ノ蠶絲ノ海外輸出ト云フ點カラ考ヘ
マスレバ、輸出業者ノ業務ト云フモノ
ハ、日本蠶絲業ノ全體ニ對シテ重要ナ
ル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨
テ日本ノ蠶絲業全體ノ統制ヲ圖ル場合
ニ於キマシテハ、輸出業者組合ノ行動ト云
フモノガ、重要ナル關係ヲ持ッテ來ル譯
デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ、
蠶絲中央會ノ國策ニ關スル重要ナル事
業ニ對シマシテハ、常ニ輸出業者ハ之
ニ參加シテ、或ハ輸出業者ニ於テ積立
金ヲ取ッテ戴クトカ、或ハ問屋カラ輸出
業ニ行ク取引、或ハ製絲業カラ直接輸
出業者ニ行ク取引、總テ神戸横濱ニ於
ケル日本ノ生絲取引ト云フモノガ、輸
出業者側、問屋側、製絲側等ガ加ハッテ、何
時デモ取引ノ關係ヲキメテ居ルト云フ
ヤウナ事情デアリマス、隨ッテ組合ハ輸
出組合、問屋業組合ト別レマシテモ、
日本中央蠶絲會ニ入ッテ、國家的ノ立場
カラ、日本ノ蠶絲業ヲ考ヘル場合ニ

○小平政府委員 輸出業者組合ハ、輸出
業者ヲ以テ組織シテ居ル團體デアリマ
シテ、日本ノ蠶絲業ノ海外販路、又日
本ノ蠶絲ノ海外輸出ト云フ點カラ考ヘ
マスレバ、輸出業者ノ業務ト云フモノ
ハ、日本蠶絲業ノ全體ニ對シテ重要ナ
ル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨
テ日本ノ蠶絲業全體ノ統制ヲ圖ル場合
ニ於キマシテハ、輸出業者組合ノ行動ト云
フモノガ、重要ナル關係ヲ持ッテ來ル譯
デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ、
蠶絲中央會ノ國策ニ關スル重要ナル事
業ニ對シマシテハ、常ニ輸出業者ハ之
ニ參加シテ、或ハ輸出業者ニ於テ積立
金ヲ取ッテ戴クトカ、或ハ問屋カラ輸出
業ニ行ク取引、或ハ製絲業カラ直接輸
出業者ニ行ク取引、總テ神戸横濱ニ於
ケル日本ノ生絲取引ト云フモノガ、輸
出業者側、問屋側、製絲側等ガ加ハッテ、何
時デモ取引ノ關係ヲキメテ居ルト云フ
ヤウナ事情デアリマス、隨ッテ組合ハ輸
出組合、問屋業組合ト別レマシテモ、
日本中央蠶絲會ニ入ッテ、國家的ノ立場
カラ、日本ノ蠶絲業ヲ考ヘル場合ニ

○小平政府委員 輸出業者組合ハ、輸出
業者ヲ以テ組織シテ居ル團體デアリマ
シテ、日本ノ蠶絲業ノ海外販路、又日
本ノ蠶絲ノ海外輸出ト云フ點カラ考ヘ
マスレバ、輸出業者ノ業務ト云フモノ
ハ、日本蠶絲業ノ全體ニ對シテ重要ナ
ル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨
テ日本ノ蠶絲業全體ノ統制ヲ圖ル場合
ニ於キマシテハ、輸出業者組合ノ行動ト云
フモノガ、重要ナル關係ヲ持ッテ來ル譯
デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ、
蠶絲中央會ノ國策ニ關スル重要ナル事
業ニ對シマシテハ、常ニ輸出業者ハ之
ニ參加シテ、或ハ輸出業者ニ於テ積立
金ヲ取ッテ戴クトカ、或ハ問屋カラ輸出
業ニ行ク取引、或ハ製絲業カラ直接輸
出業者ニ行ク取引、總テ神戸横濱ニ於
ケル日本ノ生絲取引ト云フモノガ、輸
出業者側、問屋側、製絲側等ガ加ハッテ、何
時デモ取引ノ關係ヲキメテ居ルト云フ
ヤウナ事情デアリマス、隨ッテ組合ハ輸
出組合、問屋業組合ト別レマシテモ、
日本中央蠶絲會ニ入ッテ、國家的ノ立場
カラ、日本ノ蠶絲業ヲ考ヘル場合ニ

ハ、ヤハリ中央蠶絲會ニ入ッテ、全國的ニ蠶絲業ノ問題ニ付テ十分協調シテ貫ハナケレバナラヌト云フ點カラ、中央蠶絲會ニ入ルヤウニ致シタノデアリマス

テ居リマスカラ、此國家ノ検査ガ進ミマス、或ハ輸出業者ノ手ヲ經ズ、製絲家ガ直接ニ紐育ノ商賣人ノ手ニ行クコトノ分量ガ相當殖エルコトガアルト御承知下スツテ宜シカラウト思フ、私ハ

以テ第一ニ絲價ガ相當ノ相場ニ行キマシテ、製絲家ガ利益ヲ得レバ、自然繭ニシテモ、相當高價ニ買入レマシテ、必ズ三千ノ業者ダケニ依ッテ結束シテ、繭ヲ安ク買ハウトカ何トカト云フヤウ

段進ンデ、全世界ニ我ガ生絲ヲ普及サセルヤウナ方法ヲ探ッテ行カナケレバ、亞米利加ナラ亞米利加ヲ一ツノ得意ト致シマシテモ、亞米利加ニ不景氣ガ來、恐慌ガ來マスレバ、私共悲慘ノ狀況ニ立到ルノデアリマス、今後政府ニ於テハ、此生絲ヲ全世界ニ向ッテ普及サセル計畫ガアルカナイカ、ドウ云フ風ニ

○町田國務大臣 只今林君ノ御尋ニ對シテ、私ノ見ル所ヲ簡單ニ申上ゲマス、ドウモ是ハ從來中央會ニ於キマシテ、四部ニ分ツタ時代ニ——今モ現在左様

此席ニ於テ、輸出業ノ必要ノアリナシヲ申ス場合デアリマセヌ、必要ト見做シマスケレドモ、相當紐育ノ輸入業者ガ、直接ニ製造業者ニ注文シテ、問屋

ニ明カデアリマス、前途ニ於テ、我國ニ只今農林大臣ノ御話ノ如ク、幸ニモ國立生絲検査所ガ出來テ、需用地ノ信用ヲ得タナラバ、之ヲ直接海外ニ賣ル

○町田國務大臣 極メテ重大ナ御質問ニ遭ッテ、簡單ナガラ農林當局ガ今考ヘテ居リマスル所ノ一端ヲ申上ゲル機會ヲ得マシタノハ寧ロ幸福デアリマス、私共ハ出來ルダケ日本ノ生産費ヲ安ク

ハ輸出業ト問屋業ト利害ヲ異ニシタ意味デ出來テ居ルノデアリマシテ、日本ノ六十萬俵ト云フ生絲ノ多クハ、此手ヲ經テ行キマスカラ、輸出ヲ盛ニスルニ付テハ必要ナル機關ト思ヒマス、

トガ想像シ得ラレルノデアリマス

○林委員 只今農林大臣ノ御親切ナ、前途ニ對スル御言葉、洵ニ安心ト申シマス、非常ニ喜ンデ御聽キシマシタ、又私ト致シマシテ、行詰ッテ居ル蠶絲業ニ於キマシテハ、只今前段ノ御方ノ

マダ増スモノト思ヒマス、併シ昨今ノ調査竝ニ海外ニ於ケル商況等ノ報道ヲ常ニ注意シテ居リマスル中ニ、今ノ日本ガ主トシテ亞米利加市場ノミニ重キヲ置イテ居ッタノハ誤リデアッテ、全世

只私ハ輸出業ノ團體ヲ輕ク見ル意味デハアリマセヌガ、御承知ノ通り或ハ英國邊リハ直接ニ製絲家ニ向ッテ注文シテ、洋俵ヲ以テ輸出シテ居ルモノモアリマス、ソレカラ昨年以來紐育ノ或ル

御質問其他ニ於カレマシテ、組合製絲云々、或ハ普通製絲業者ニ於キマシテノ、所謂我國ノ前途理想ト致シマシテハ、養蠶家ニ依ッテ成立ツ所ノ組合製絲ハ、確ニ理想デハアリマスカ、現

追々國家ガ左様ナ方針ニ依ッテ、直輸出ヲスルトカ、或ハ彼地ニ國立ノ販賣所ヲ御設ケニナルトカ、何トカ相當ノ方法ヲ樹テラレルト云フ御希望ガアルカナイカ、ソレカラ農林大臣ガ御熱心ニ

界ニ向ッテ、廣告其他ノ方法ニ依ッテ販路ヲ擴ゲマス、阿弗利加地方ヲ初メトシテ、南洋、南米等ニ於キマシテモ、相當アリ、或ハ巴爾幹半島ニ於テモ、

大キナ生絲業者ナドガ、直接ニ製絲家ニ注文シテ來タコトノ事實モアリマス、先般衆議院ニ於テ、既ニ御協賛ヲ得テ、貴族院ニ廻ッテ居リマス所ノ、國

在今日マデ我國ガ、斯様ナ重要ノ物產ヲシテ輸出スルニ立至リマシタ所ノ、即チ一般製絲ガ、今日如何ナル道程ニ居ルカ、是ハ私カラ申上ゲヌデモ御承

澤山ノ生産助長ト云フコトノ御研究ヲナサル譯デアアル、販賣ト云フコトハ商工省ノ手ニデモ移サレルガ宜イト思フ

農林省ハ實ハ昨年一昨年ノ經驗ニ依リマシテ、先ヅ第一ニ亞米利加ニ人ヲ派遣シテ、常ニ市況ヲ漏レナク調査セシメヤウト云フ考モアリマシタガ、不幸

コトガ茲ニ確立シマス、日本ノ検査方法ガ、幸ニ亞米利加ノ検査方法ヨリモ寧ロ宜シイト云フ空氣ニ昨今相成ッ

非常ナ利益ヲ得テ富豪ニナッタト云フヤウナコトハ、マダ——今日左様ナ道程デハナイト思フノデアリマス、先

省デアアルト云フ譯デアリマセヌガ、農林省ノ立場ハ、自然物ヲ作ッテ、所謂

農林省ハ實ハ昨年一昨年ノ經驗ニ依リマシテ、先ヅ第一ニ亞米利加ニ人ヲ派遣シテ、常ニ市況ヲ漏レナク調査セシメヤウト云フ考モアリマシタガ、不幸

コトガ茲ニ確立シマス、日本ノ検査方法ガ、幸ニ亞米利加ノ検査方法ヨリモ寧ロ宜シイト云フ空氣ニ昨今相成ッ

非常ナ利益ヲ得テ富豪ニナッタト云フヤウナコトハ、マダ——今日左様ナ道程デハナイト思フノデアリマス、先

省デアアルト云フ譯デアリマセヌガ、農林省ノ立場ハ、自然物ヲ作ッテ、所謂

農林省ハ實ハ昨年一昨年ノ經驗ニ依リマシテ、先ヅ第一ニ亞米利加ニ人ヲ派遣シテ、常ニ市況ヲ漏レナク調査セシメヤウト云フ考モアリマシタガ、不幸

ニシテ本年實現スルコトガ出來ナカッ
タノデアリマス、一面現在ノ中央會ヲ
督勵致シマシテ、今年ヨリ百萬圓バカ
リノ經費ヲ以チマシテ、販路ヲ世界ニ
求ムル、人ノ派遣ノ「プロバガンダ」
其他種々ナル方法ニ依ッテ、新シキ販路
ヲ擴張スルコトニ、今日ノ中央會ガ相
當力ヲ盡シテ居リマス、若シ此法案ガ
出來マシテ、新ニ最高機關ガ中央ニ出
來マス、一層販路ヲ世界ニ求ムルコ
トヲ促進スル施設ガ行ハレ易イト思ヒ
マス、左様ナコトハ昨年以來農林省ガ
中央會ニ向ッテ屢々意見ヲ申シマシテ、
ソレダケハ實現スルコトニ相成ッテ居
リマスルコトハ、林君ノ御尋ニ對スル
全部ノ御答デハアリマスマイガ、御尋
ノ一部ニ向ッテ、御答ヲスル一ツノ實例
トシテ申上ゲル次第デアリマス

○林委員 海外方面ニ向ッテノ御計畫
ハ、是カラ相當ニ御計畫下サルト云フ
コトデ、稍々安心ヲ致シマシタガ、大體
此價格ヲ努メテ低廉ナラシメルト云フ
コトハ申スマデモナク、此生絲ヲ全世
界ニ普及サセル根本デアル、斯様ナコ
トモ只今大臣カラ御説明ガアリマシ
テ、至極御尤デアルト思ヒマス、然ル
ニ現今ノ生絲製造家ニ對シマシテ、工
場法ノ適用ガ甚ダ苛酷デアリマス故
ニ、生産費ニモ是ガ影響スル嫌ガアル
ト思フノデアリマス、尙私ハ農林大臣

ニ伺ッテハ筋違ヒニナルカモ知レマセ
ヌガ、我が全國中ニ於キマシテモ、其
縣々ニ依ッテ、工場法ノ適用ガ違フ爲
ニ、其適用ガ苛酷ナル爲ニ、非常ニ迷
惑ヲシテ、生産費ガ餘分ニ掛ルト云フ
苦痛モアルノデアリマスカラ、國ガ法
律ヲ定メ、縣ガ之ヲ參酌シタルト云
フ風ニ、全國均一的ニ之ヲ行ハシムル
ヤウナ方法ヲ執ッテ戴キタイト思フノ
デアリマス、之ニ付テ農林大臣ハドウ
云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ

○町田國務大臣 只今ノ御尋ハ御尤ノ
コト、思ヒマス、當面ノ責任ヲ取ッテ居
リマスル社會局等ト能ク相談致シマシ
テ、出來ルダケ御希望ニ添フヤウニ、
農林省トシテモ内務省ノ方ニ交渉致ス
コト、致シマス

○林委員 私ノ質問ハ一先ゾ保留シテ
置キマス

○木村委員 私ハ絲ヲ能ク調ベテ居リ
マセヌカラ、御聽キスルコトハ如何カ
ト思ヒマスガ、皆サンノ御質問ニ關聯
シテ御尋シテ見タイト思フノデアリマ
ス、常ニ養蠶家ト製絲家ノ利害ハ反ス
ルノデアリマス、其爲ニ反目シテ居ル
ト云フコトヲ常ニ慨歎シテ居ルノデア
リマス、私ハ此法案ガ出來テ、其憂ヲ
除クコトガ出來ルヤウニナッタコトヲ、
非常ニ喜ンデ居ル次第デアリマス、段
段横川君、高橋君ノ質問等ニ依ッテ、政

府ノ御答辯ヲ承ッテ居リマス、蠶絲業
ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ主ナル
目的トシテ居ルト云フコトデアリマス
ガ、ドウモ統制ト云フコトニ付テハ、
頗ル遺憾アリト考ヘテ居リマス、ソレ
ハ今日マデ種々ナル蠶絲業ニ對スル團
體ガアツタノヲ、打ッテ一丸トスルヤウ
ナコトニ伺ヒ、現ニ横川君、高橋君ノ
質問ニ依ッテ、乾繭組合ハ殆ド度外ニ置
イテ居ルヤウナ法律ノ制定ノ仕方デア
ル、一體製絲家ト養蠶家ノ利害ガ相反
シテ、殆ド反目スル狀態デアッタコトハ
ドウ云フ譯カト云ヘバ、生繭取引ヲシ
テ居ルコトガ、抑々利害ノ反シテ居ル原
因デアルト思ヒマス、故ニ國家ガ今日
マデ乾繭ヲ獎勵シテ居ルノモ、蓋シ其
處ニ原因シテ居ルト思ヒマス、即チ乾
繭ニ依ッテ、四季何レノ時ニ於テモ取引
ガ出來ルト云フコトデアルナラバ、繭
ノ價格ノ安定ガ稍々見ラレル形ニナッ
テ居ル、ソレヲ季節的ニ一週間ナラ一週
間、十日ナラ十日ノ間ニ、キツト賣ッテシ
マハナケレバナラヌト云フコトノ爲
ニ、今日製絲家ト養蠶家ノ利害ガ相反
シテ居ル結果ガ出來テ居ルト思ヒマ
ス、所ガ第一ニ製絲ノ基礎トナル養蠶
ノ繭ノ價格ノ安定ヲ希望スル所ノ乾繭組
合ヲ少シモ考慮ニ入レテ居ラナイト云
フ法案デアルトハ、非常ニ此法案ノ
缺陷デアルト思ヒマス、ソレハドウ云

フ譯デサウ云フコトガ出來テ來タカト
熟考ヘマス、此法案ニハ少シモ財政
ト云フコトガ考慮サレテ居ラナイ、即
チ財政ノ方ハ産業組合ガアルノデア
カラ、其方ニ委シテ、此法案ニハ少シ
モソレヲ加ヘテ居ラナイ、含マレテ居
ナイト云フコトガ、即チ統制ヲ得ル所
以デナイ、是ガ第一ノ缺陷デアリマス、
横川君ノ最初ノ質問ニ對スル農林大臣
ノ答辯ハ、大藏大臣ヤ商工大臣ト能ク
相談シテ、金融ノコトニ付テモ考慮シ
テ見ルカノ如キ御答辯デアッタと思ッ
テ居リマシタガ、其後ノ答辯ニ依ルト、
サウ云フモノハ産業組合ニ委セルト云
フヤウナ御答辯ノヤウニ承リマシタ、
果シテ左様デアルトスレバ、ドウシテ
モ養蠶家ハ常ニ弱者ノ地位ニ立タナケ
レバナラヌコトニナッテ、何時デモ金融
ノ便ヲ得テ居ラヌカラ、乾繭組合ノナ
イト云フコトデ、ドウシテモ一週間ヤ
十日ノ間ニ賣ッテシマハナケレバナ
ラヌ、又製絲業者ハ之ヲ見込ンデ、安
ク買ッテ行ク、其間ノ調和ガ此法案ノ上
ニ於テ十分取レテ居ラヌト思フ、是ハ
ドウシテモ根本的ニ調和ヲ取ッテ行ク
ト云フコトデナケレバイケナイト思フ
ガ、之ヲ調和ガ取ッテ行ケルヤウナ方法
ニスル考ガアツテ、此法案ヲ作ッタノデ

アルカ、或ハ更ニ進ンデ、此法案ノ修
正改造ノ域ニ達シナケレバナラヌト思
フテ、此法案ヲ作ッタノデアリマスカ、先
以テソレヲ一ツ御聽キシタイ、而シテ
更ニ御聽キシタイコトハ、今日マデ幾
多ノ各種團體ガアルヤウデアルガ、是
ハ此法案ガ出來テモ、ヤハリ其儘ニ存
續サセル、認メテ置クコトニナルト致
シマスレバ、組合ノヤウナモノヲ十ノ
上ニ二十、二十ノ上ニ三十モ作ルコト
ニナッタナラバ、益、統制ガ案レテ行ク
ト思ヒマス、農會ガ彼此レ言ッテ居リ、
又中央倉庫デモ苦情ヲ言ッテ居ルノハ、
蓋シ此點ニ關スルト思ヒマス、此點ノ
御考慮ハドウデアリマスカ、ソレカラ
組合ニ付テ、必ズ強制加入ヲサセルモ
ノデハナイト云フヤウニ解セラレルノ
デアリマスガ、養蠶組合ニ對シテ、養
蠶家ニ強制加入ヲサセルカドウカ、ソ
レカラ産業組合ニ依ル所ノ販賣利用組
合ガ繭市場ヲ營ンデ、近所ノ農業倉庫
其他ノ倉庫ヲ借リテ、乾繭トシテ保管
シナケレバナラヌト云フノデ、販賣利
用組合ガ養蠶業及製絲業ニ間接ニ關係
シテ居ルヤウナモノハ、ヤハリ任意加
入デ、強制加入ヲサセナイカドウカ、
或ハ又信用組合ニ致シマシテモ、農業
倉庫ト云フモノヲ兼營シテ居レバ、乾
繭ノ保管ヲスル、所謂蠶絲業法カラ言
ヘバ、養蠶家、製絲家ト同ジ取扱ヲ受

○小山委員長 本日ハ此程度ニ止メマ
シテ、答辯ハ明後日ニ譲リタイ、更ニ
明後日質疑ヲ繼續致シタイト思ヒマ
ス、開議ノ時間ハ午後一時ニ開キタイ
ト云フ希望ヲ持ッテ居リマスルガ、正確
ナル所ハ公報ヲ以テ御知ラセ申上ゲマ
ス、是ニテ散會致シマス
午後六時十分散會